

2020年11月13日

熊本大学理学部

理学部 理学科 4年生アンケートの集計と分析

このアンケートは、卒業を目前にひかえた理学部理学科4年生(2020年3月卒業生)が、本学部の教育システムである「一学科による教育プログラム制」に対してどのような意見を持ち、どう評価しているのかを調べるために本学部独自に実施したものである。全対象学生からのアンケート回答回収を目指して、各研究室にアンケート用紙必要部数を封筒に封入して配布し、以下提出期限までに教務担当事務まで提出依頼した。

提出期限: 2020年2月14日(金)

提出場所: 理学部 教務企画係 または 共通学科事務室

結果、182名から回答を得ることができた。回収率は100%であった。この報告書において回収したアンケートデータの集計とその分析を行った。

はじめに

2016年3月卒業生(2012年4月入学生)から卒業要件が変更されている。これ以降、2020年3月卒まで卒業要件の変更はないが、この変更がアンケート結果に影響を与えているかもしれないので、ここに変更点をまとめておく。

情報基礎 A, B に情報処理概論が加わり、教養教育の情報科目3単位が必修化された。

専門基礎科目の理学教養科目が教養教育の理系基礎科目に変更された。

必修外国語科目が10単位から8単位に変更された。

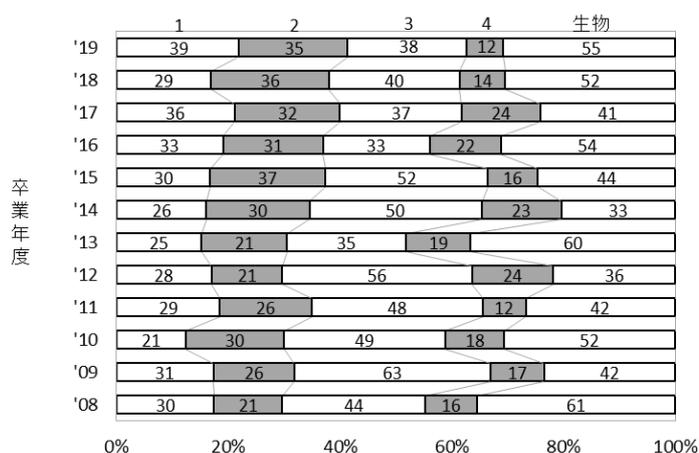
共通基礎科目以外の教養科目の必須単位も9単位から11単位に変更された。

これらに伴い、卒業研究の履修要件が理系基礎科目以外の教養科目について1単位増えた。

あなたのコースは何ですか

1. 数学
2. 物理学
3. 化学
4. 地球環境科学
5. 生物学

昨年度と比べて数学コースが大きく増加し、過去最多となっている。そのほかのコースはあまり変化していない。



A. 入学時の志望理由について

(A1) 入学時に熊本大学理学部を選んだ理由を記述して下さい。

回答数（意見など）：178 件

「入学後に専門分野を選ぶことができる」、「幅広く学ぶことができる」という熊本大学理学部の特色が最も多く回答されており、8割にもものぼる。これらに続いて大学の偏差値や地域的な理由が挙げられている。

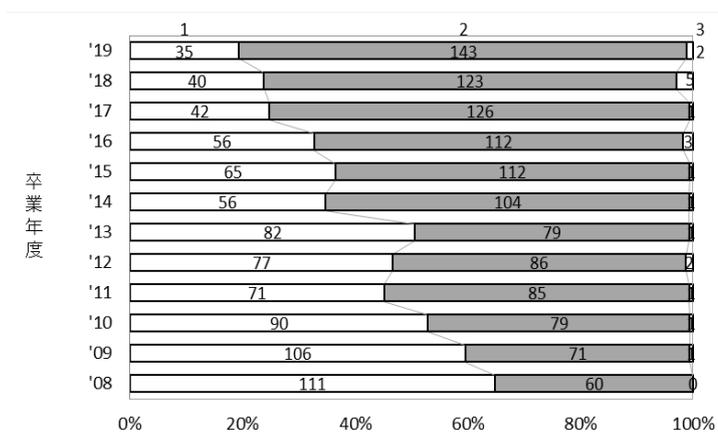
B. 教育システム，授業内容について

1 年次理系基礎科目と 2 年次理学共通科目の教育内容について，お聞きします。

(B1) 1 年次理系基礎科目の授業数は

1. 多い
2. 適当
3. 少ない

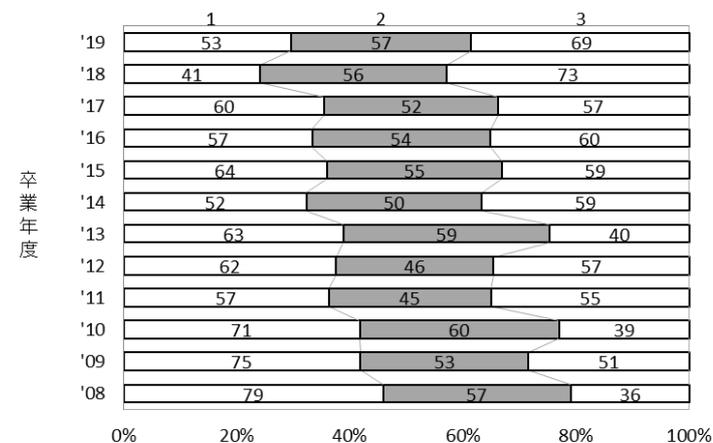
「適当」であると感じた学生の割合が徐々に増加しており、今年度は 8 割程度となり、理系基礎科目の重要性の理解が進んでいると考えられる。



(B2) 1 年次理系基礎科目において全ての科目を履修しなければならないことに関して

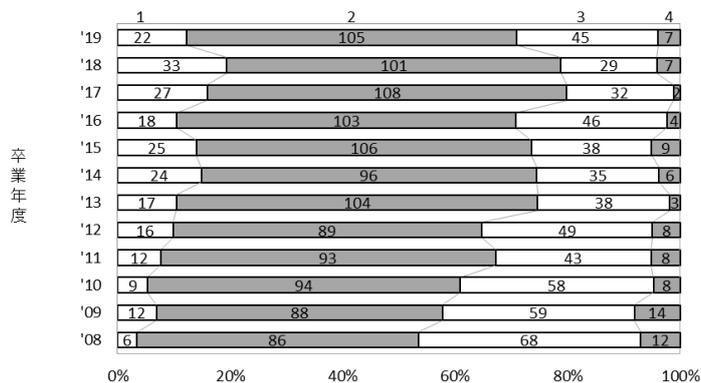
1. 負担に感じた
2. どちらとも言えない
3. 負担に感じなかった

例年と同様な傾向で、3つの選択肢がほぼ3分の1ずつ選ばれている。



(B3) 1年次理系基礎科目において5分野
全てを履修したことは有益でしたか？

1. 非常に有益だった
2. 有益だった
3. あまり有益ではなかった
4. 有益ではなかった

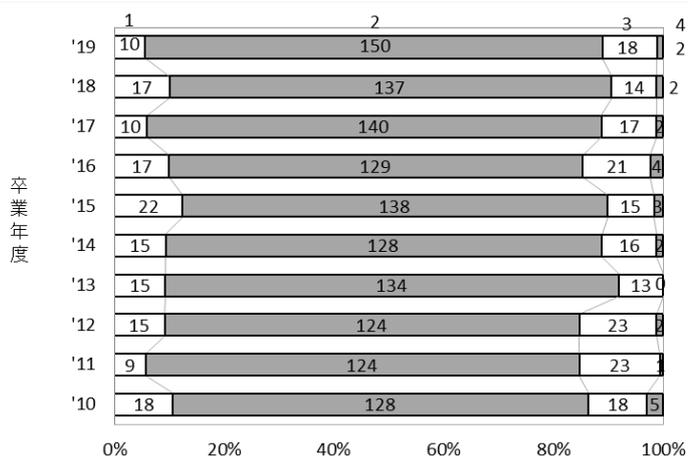


肯定的な意見の割合が徐々に上がっており、7割ほどに上っている。

(B4) 1年次理系基礎科目の授業の水準は

1. 難しかった
2. 適当であった
3. やさしかった
4. その他

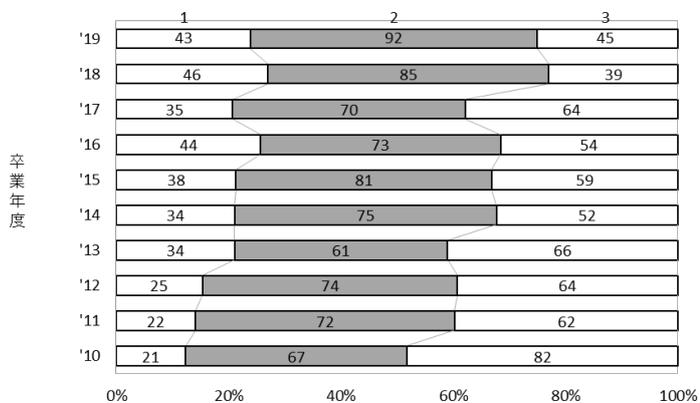
例年通り「適当であった」との回答が多く、今年度は8割以上の150名に達する。



(B5) 1年次では、ゆとりを持って学べましたか。

1. ゆとりがあった
2. どちらも言えない
3. ゆとりがなかった

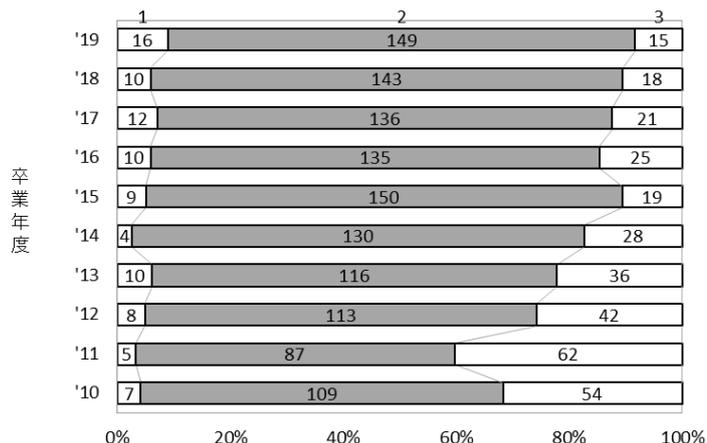
ゆとりがなかったという学生の割合は徐々に減っているが、それでも4分の1ほどである。



(B6) 2年次理学共通科目の授業数は

1. 多い
2. 適当
3. 少ない

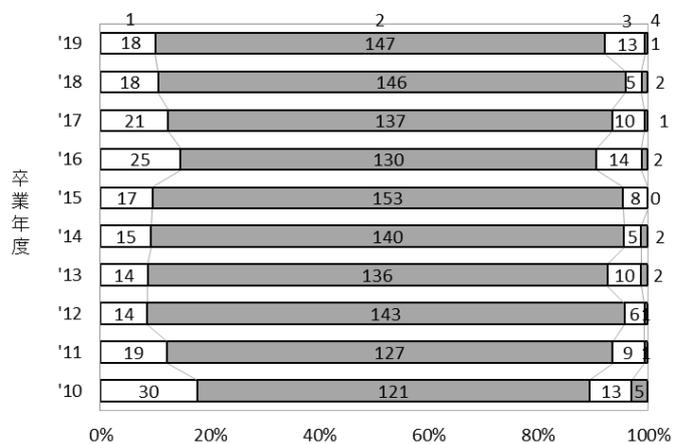
「適当」との回答が8割以上の大勢を占めている。



(B7) 2年次理学共通科目の授業の水準は

1. 難しかった
2. 適当であった
3. やさしかった
4. その他

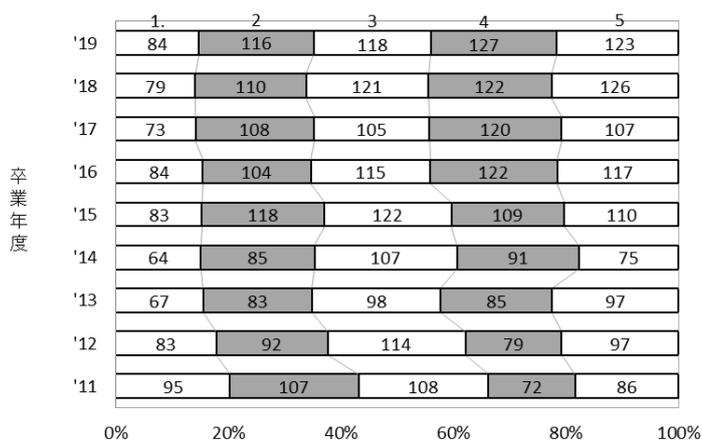
「適当だった」の割合が高く、8割を超えている。



(B8) 2年次理学共通科目で履修した分野を選んで下さい。ただし、情報処理概論と理系基礎科目の統計学 I, II は除きます。(複数選択可)

1. 数学
2. 物理
3. 化学
4. 地球
5. 生物

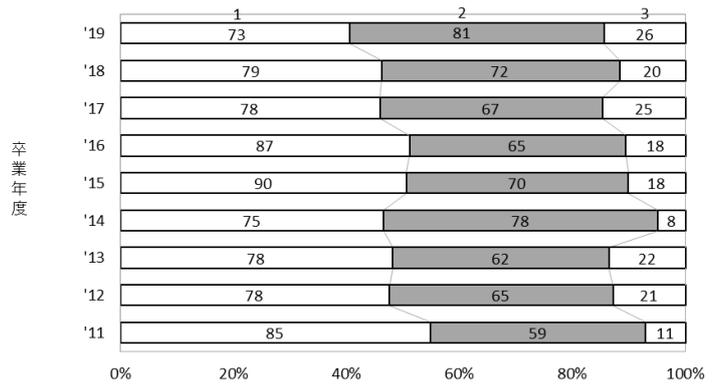
数学は半分程度、物理・化学は65%程度、地球・生物は7割程度の学生が履修している。



(B9) 2年次では、ゆとりを持って学べましたか。

1. ゆとりがあった
2. どちらも言えない
3. ゆとりがなかった

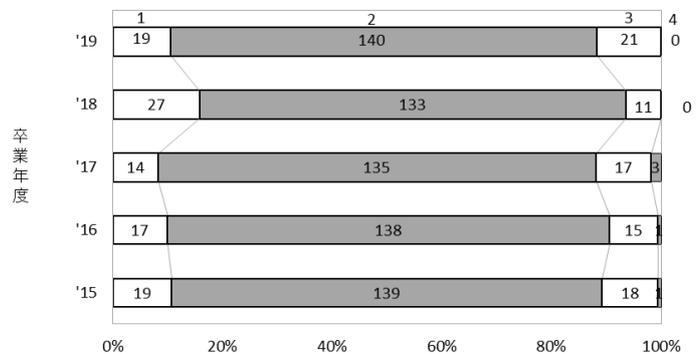
「ゆとりがなかった」との回答は1割強でありやや増加傾向ではあるが、2年次は比較的余裕があると言える。



(B10) 2年次理学共通科目は、これまでの学修において有益でしたか？

1. 非常に有益だった
2. 有益だった
3. あまり有益ではなかった
4. 有益ではなかった

「有益であった」との学生が大半を占める。

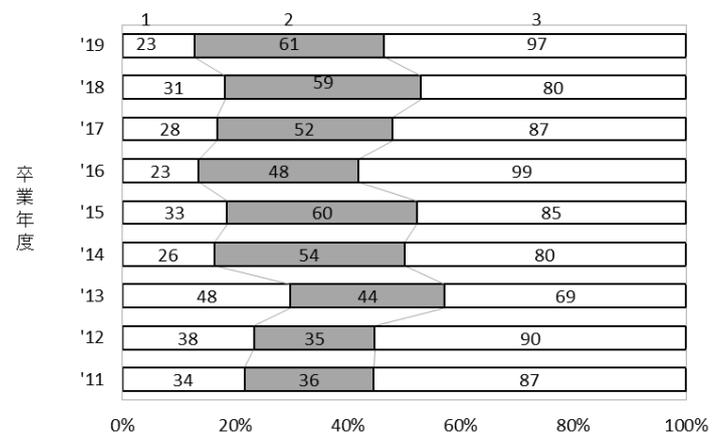


教養教育における科目についてお聞きします。

(B11) 理学部では卒業要件単位 124 単位の内、23 単位は理系基礎科目以外の教養教育の単位を取得する必要があります。負担に感じましたか。

1. 負担に感じた
2. どちらとも言えない
3. 負担に感じなかった

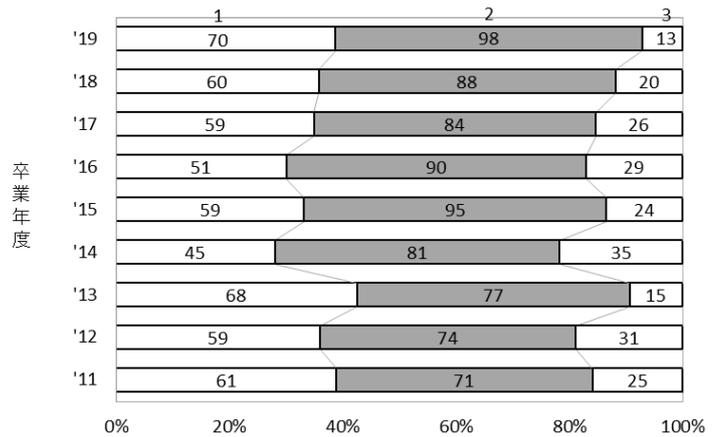
負担を感じる学生は1割強で安定しており、適性であると考えられる。



(B12) 基礎セミナーの満足度についてお答えください。

1. 満足するものであった
2. どちらとも言えない
3. 不満があった

「不満があった」という回答の割合は低いが、コメントからは不満があるように感じられる。



(B13) 基礎セミナーに関して、意見があれば自由に記述して下さい。

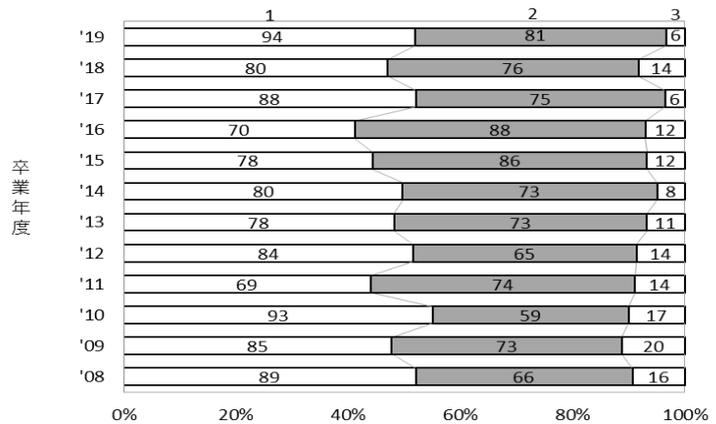
回答数（意見など）：24 件

あまり肯定的な意見は多くなく、質が授業ごとにばらつきが大きいものと考えられる。

(B14) 情報基礎についてどう思いますか。

1. 満足するものであった
2. どちらとも言えない
3. 不満があった

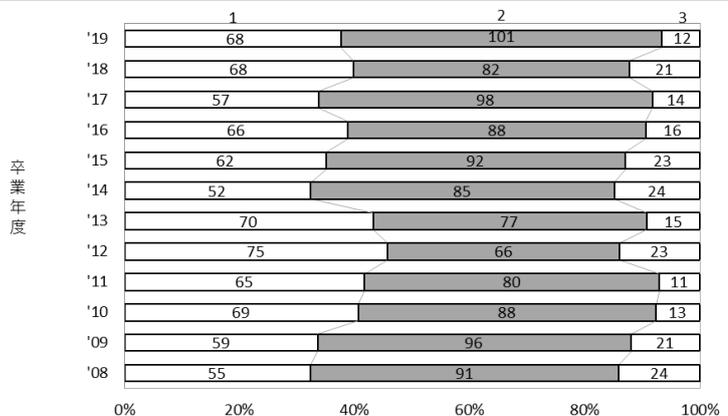
半数以上が満足しており、その後に生かされていると考えられる。



(B15) 1年次の既修外国語（英語）科目についてどう思いますか。

1. 満足するものであった
2. どちらとも言えない
3. 不満があった

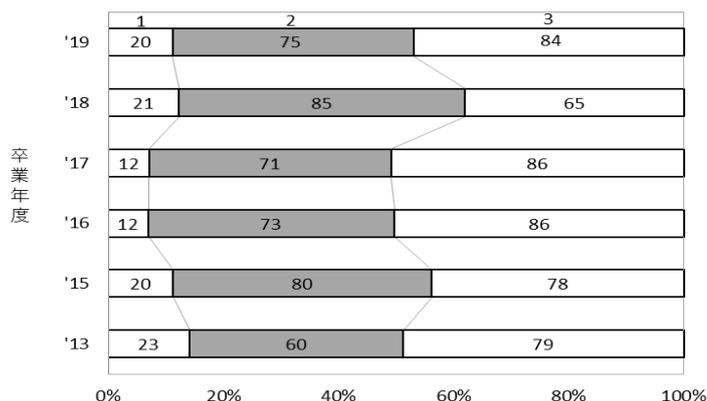
「不満があった」という回答は1割以下と低く抑えられているが、「どちらとも言えない」という回答が多く、あまり意義を見いだせていない学生が多い。



(B16) 1年次の既修外国語（英語）科目を履修してコミュニケーション能力が身に付きましたか。

1. 身に付いた
2. どちらとも言えない
3. 身に付かなかった

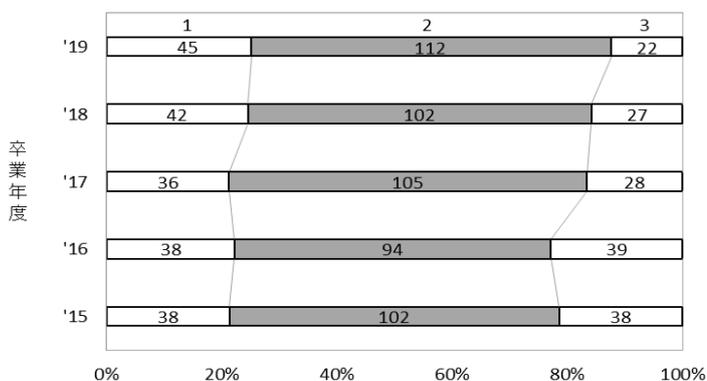
例年「身に付かなかった」という回答が多く、状況の改善がうかがえない。



(B17) 2年次の既修外国語（英語）科目についてどう思いますか。

1. 満足するものであった
2. どちらとも言えない
3. 不満があった

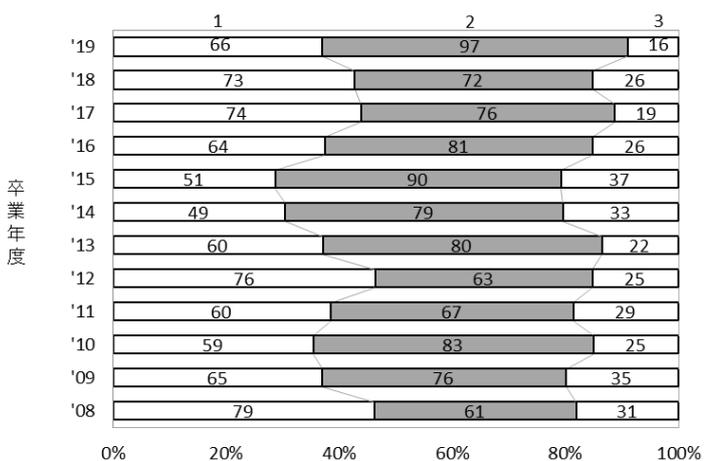
若干の改善傾向はあるが、依然として講義の意義を感じられない学生が多く、見直しが必要であると思われる。



(B18) 初修外国語（ドイツ語またはフランス語）科目についてどう思いますか。

1. 満足するものであった
2. どちらとも言えない
3. 不満があった

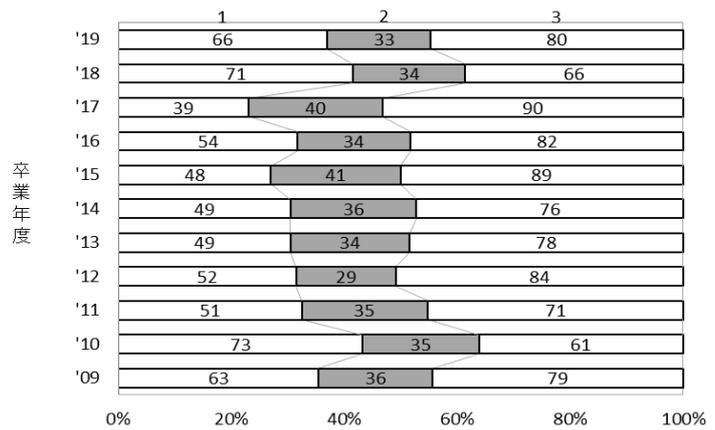
年ごとにゆらぎは大きい但不満を感じる学生は少なく、学習効果が上がっていると思われる。



(B19) 初修外国語としてアジア圏の言語を選択できるとしたら履修しましたか。

1. はい
2. どちらとも言えない
3. いいえ

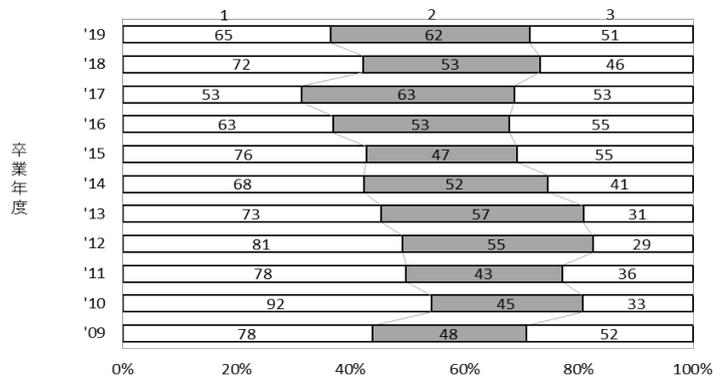
「はい」の回答が増加傾向にあり、開講が望まれる。



(B20) 自由選択外国語科目も含めて外国語科目の履修により異文化に対する理解が深まりましたか。

1. 深まった
2. どちらとも言えない
3. 深まらなかった

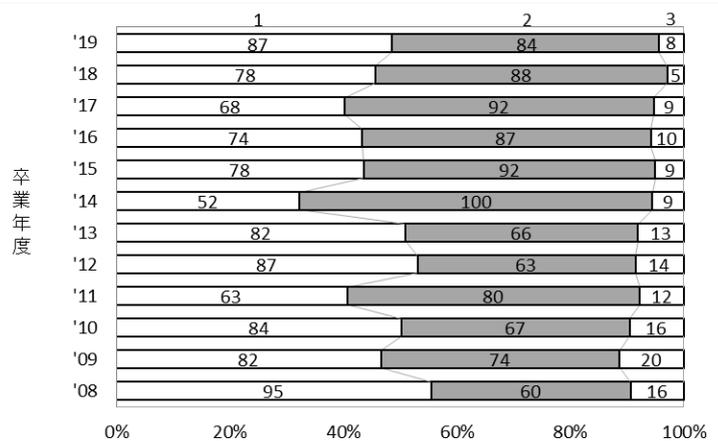
「深まった」という回答は3分の1程度にとどまっており、外国語の学習を通じて異文化を理解する重要性を認識してもらえるよう努力すべきである。



(B21) その他の教養教育科目(教養科目・社会連携科目等)についてどう思いますか。

1. 満足するものであった
2. どちらとも言えない
3. 不満があった

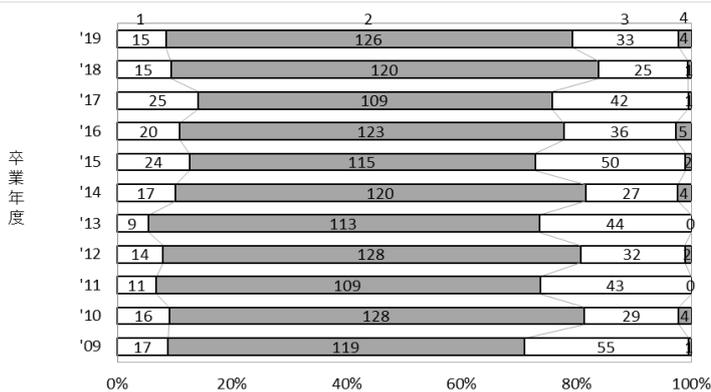
「不満があった」という回答はとても少なく、教養教育の意義が理解されていると考えられる。



(B22) 教養科目でどの授業を履修するかをどのように決めましたか。

1. 授業科目間の関係を考えて決めた
2. 興味があるものを選んで決めた
3. 単位がとりやすいものを選んだ
4. その他

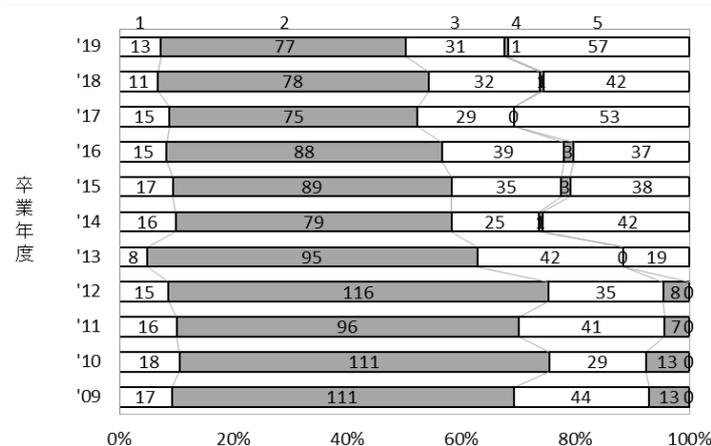
単位が取りやすいものでなく興味があるものを取るというのは良い傾向である。



(B23) 社会連携科目でどの授業を履修するかをどのように決めましたか。

1. 授業科目間の関係を考えて決めた
2. 興味があるものを選んで決めた
3. 単位がとりやすいものを選んだ
4. その他
5. 履修していない

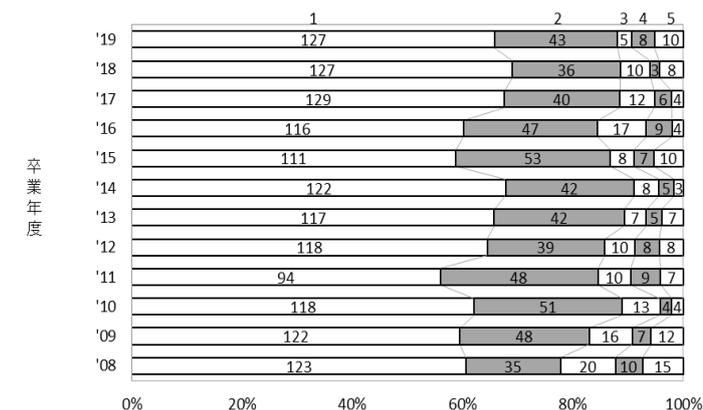
履修していない学生が増えている一方で、興味があるものを選んでいる学生は減っており、社会連携科目への関心が減っていると思われる。



(B24) 教養教育で履修した科目の全てについてどう思いますか。(複数選択可)

1. 専門以外の授業が受けられて非常にためになった
2. 教養教育科目(教養科目等)は科目数が多すぎてどれを選べばよいかわからなかった
3. もっと高度な内容を取り扱ってほしかった
4. 高校と同程度で意味がなかった
5. その他

「非常にためになった」という学生の割合が6割を占め、多くの学生が充実した教養教育を受けていると考えられる。



(B25) 教養教育において特に印象に残った授業科目あるいは授業内容を挙げてください。

回答数（授業科目または授業内容）：57 件

理学以外にも幅広い内容の教養科目について学生たちが知的刺激を受けている様子が見えてくる。

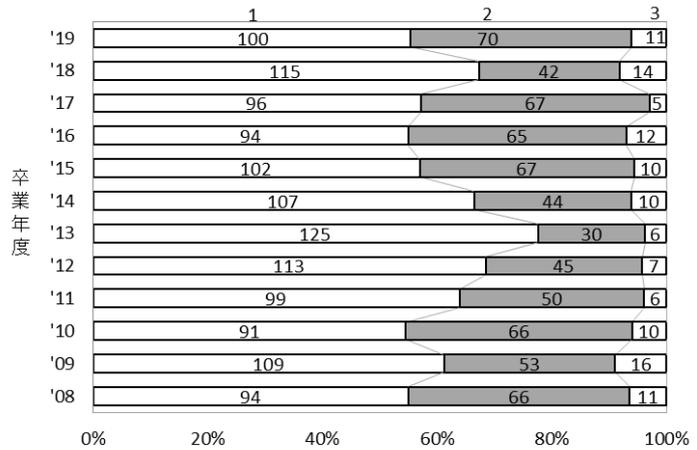
履修指導および3年次からのコース選択についてお聞きします。

(B26) コース選択のために提供された情報（学生便覧，プログラム説明会，推奨科目など）は

1. 十分である
2. もう少し多い方がよい
3. 不十分である

「十分である」とする回答が半数以上を占めるものの、「もう少し多い方がよい」という回答も4割程度を占める。3年次からの

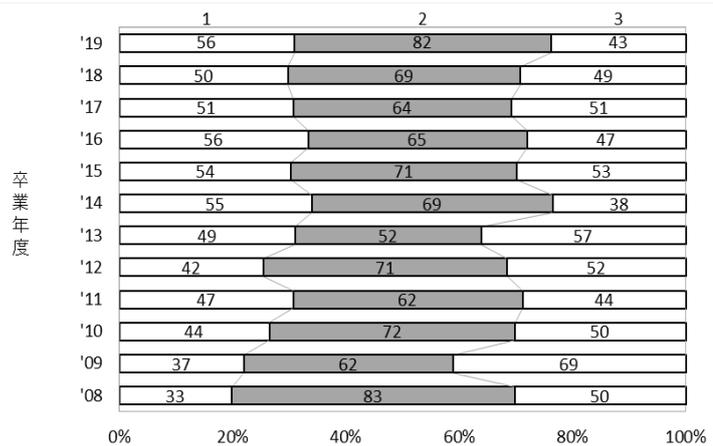
コース選択は熊本大学理学部の大きな特徴であるので、より多くの情報提供が望まれる。



(B27) 2年次までのチューター制度は役に立ちましたか。

1. 助言をもらったり相談にのってもらい役にたった
2. どちらとも言えない
3. 提供された情報で十分であり，チューターとの面談は必要なかった

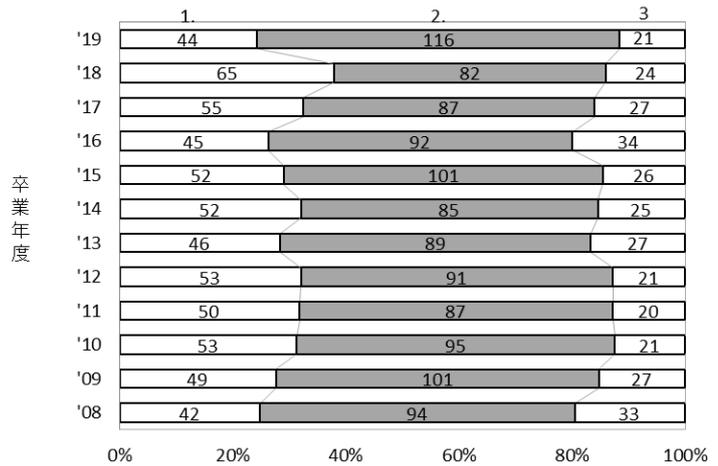
役にたったとする回答は4分の1程度とあまり多くなく、チューター面談を行う教員の意識を高める必要がある。



(B28) コース選択の際に、1年次理系基礎科目、2年次理学共通科目の教育内容は影響が

1. 非常にあった
2. 少しはあった
3. まったくなかった

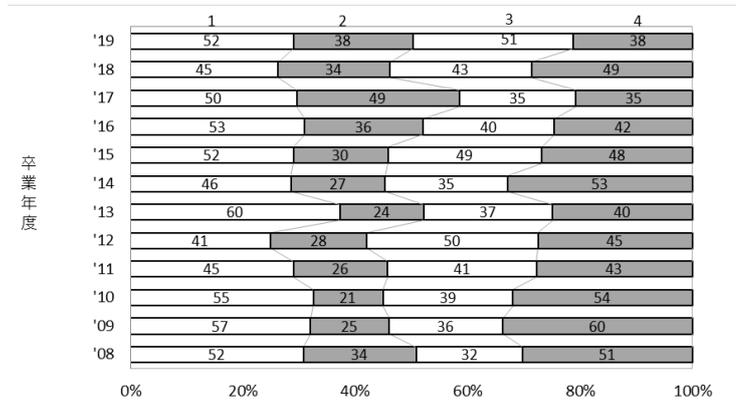
「非常にあった」と「少しはあった」という回答が多く割合を占め、理系基礎科目や理学共通科目が学生の視野を広げる役割を果たしていることがわかる。



(B29) コースはいつ決めましたか.

1. 入学前
2. 1年終了時
3. 2年前期終了時
4. 2年後期

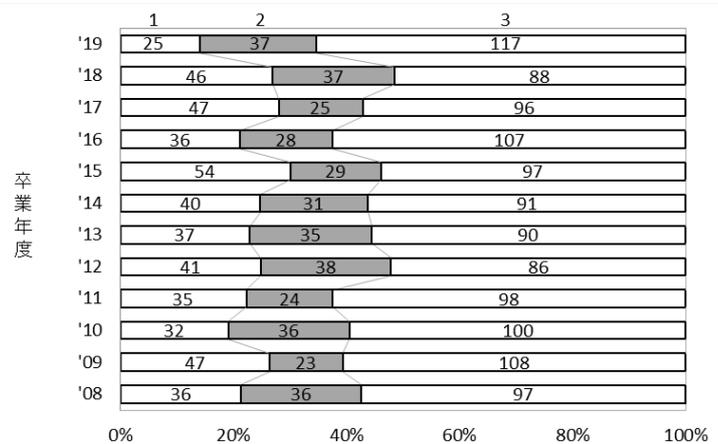
「入学前」という学生の割合は4分の1程度であり、多くの学生が入学後にコースを決めていることがわかる。



(B30) 入学時点で希望していたコースと最終的に選択したコースとで変更はありますか.

1. 変更した
2. 入学時点では特定の希望はなかった
3. 変更しなかった

半数以上が「変更しなかった」と回答しているが、熊本大学理学部の趣旨からすればもっと多くの学生が大学に入ってから志望コースを変えるということがあっていいだろう。



(B31) 前問で 1. 変更した あるいは 2. 入学時点では特定の希望はなかった を選んだ方にお聞きします。コースを変更した理由あるいは決めるときに考慮した事項は何ですか。(複数回答可)

1. 1年次理系基礎科目を受講して、コースを変更あるいは決めた
2. 2年次理学共通科目を受講して、コースを変更あるいは決めた
3. コース説明会を聞いて、コースを変更あるいは決めた
4. チューターとの相談を通して、コースを変更 あるいは決めた
5. その他(回答9件)

1・2年次の受講科目によってコースを決めた学生が大勢を占めており、これらの科目の重要性が教員に認識されるべきである。

(B32) コース説明会の時期はいつがよいですか。現在は1年次の後学期開始時期および2年次の理学概論の中で開催していますが、回数や時期に関して意見があれば自由に記述して下さい。

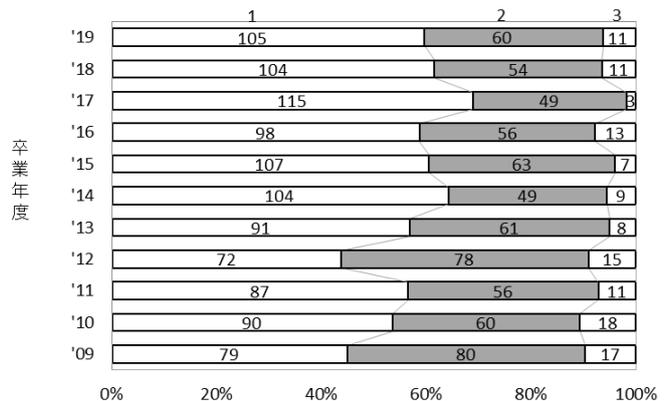
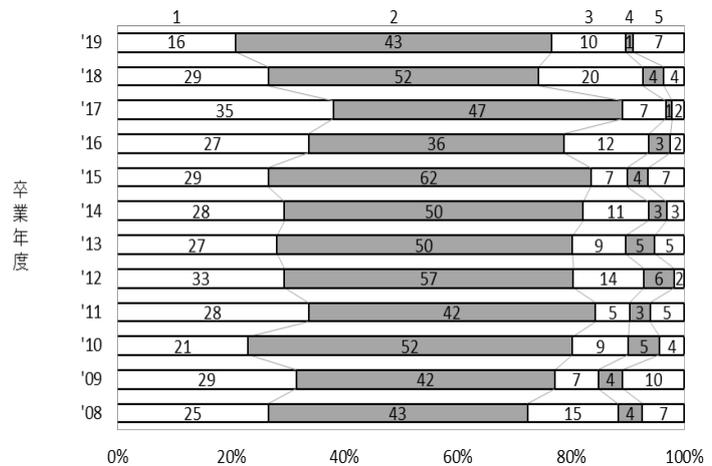
回答数 (回数や時期に関して) : 51 件

現在のままで良いとする意見が多かったが、説明の機会を増やして欲しいという意見もあった。

(B33) 現在、3年進級時にコースを選択していますが、今かえりみていつがよかったと思いますか。

1. いまのまま (3年進級時)
2. 2年後期から
3. その他

ここ数年、「いまのまま (3年進級時)」が半数近くに達しており、現在のシステムが支持されているようである。

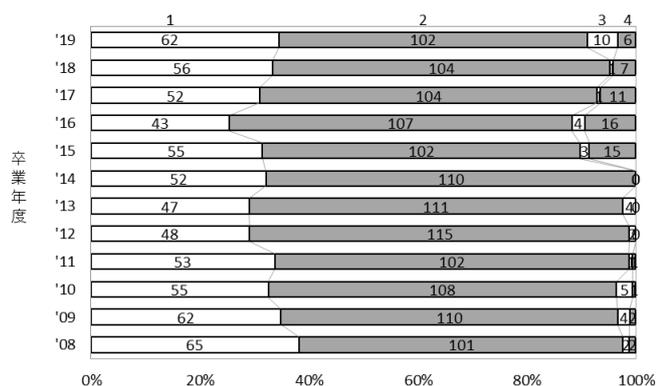


3. 4年次の理学専門科目（卒業研究を除く）の教育内容についてお聞きます。

(B34) 理学専門科目の授業の水準は

1. 難しかった
2. 適当であった
3. やさしかった
4. その他

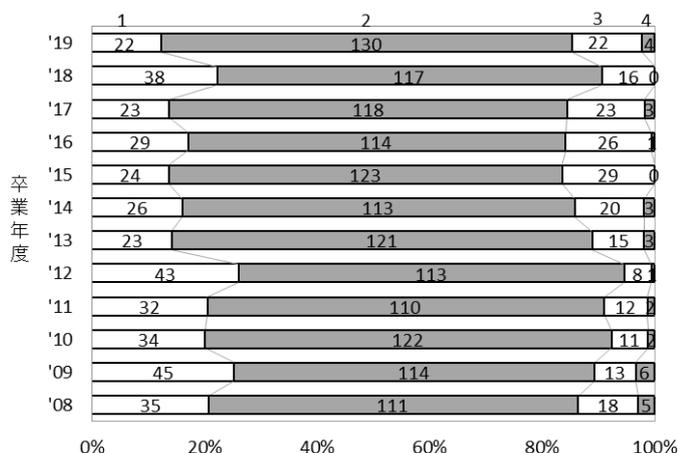
ここ数年と同様の傾向で、「難しかった」が3割程度、「適当であった」が6~7割で推移している。



(B35) 1年次理系基礎科目，2年次理学共通科目の教育内容は関連する理学専門科目を受講する上で有益でしたか？

1. 非常に有益だった
2. 有益だった
3. あまり有益ではなかった
4. 有益ではなかった

「非常に有益であった」や「有益であった」が合わせて8割以上あり、連続性のある講義が行われていると考えられる。



(B36) 各コースの講義科目およびその内容について意見があれば自由にお書き下さい。また、新たに開講してもらいたい科目があれば，記述して下さい。

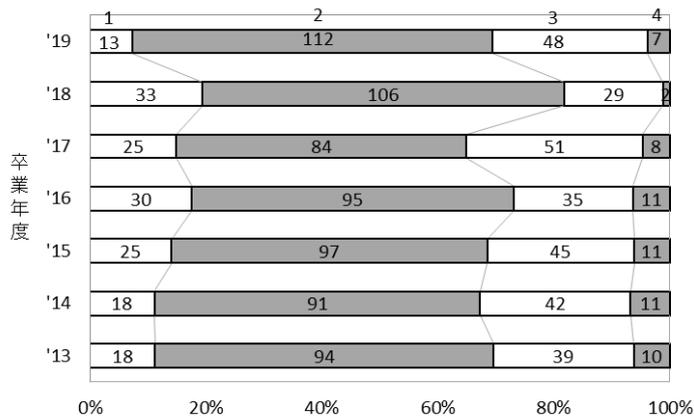
回答数（意見や授業科目など）： 12件

様々な要望があり、できる限り答えていきたい。

卒業研究の教育内容についてお聞きします。

(B37) 理系基礎科目の教育内容は卒業研究において有益でしたか？

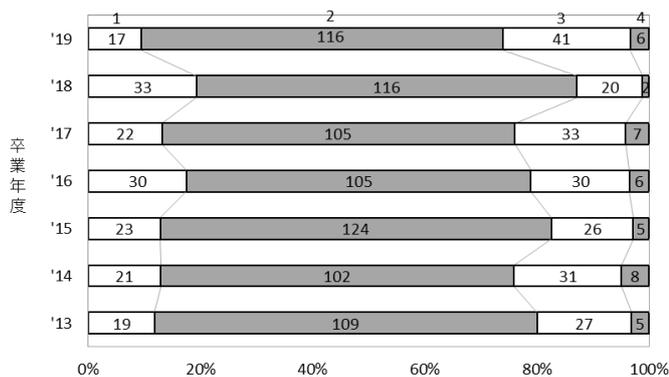
1. 非常に有益だった
2. 有益だった
3. あまり有益ではなかった
4. 有益ではなかった



「非常に有益だった」と「有益だった」の意見が全体の半数以上を占める。理系基礎科目が卒業研究の基礎としての有益だったと思われる。

(B38) 理学共通科目の教育内容は卒業研究において有益でしたか？

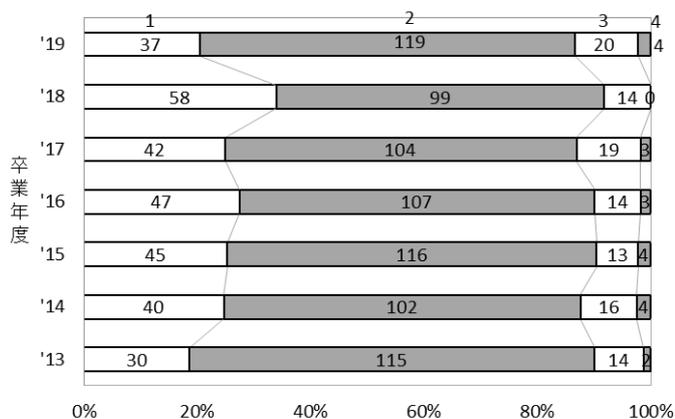
1. 非常に有益だった
2. 有益だった
3. あまり有益ではなかった
4. 有益ではなかった



有益と判断する学生が全体の約8割を占め、意義が認められている。

(B39) 3年次の理学専門科目は、卒業研究において有益でしたか？

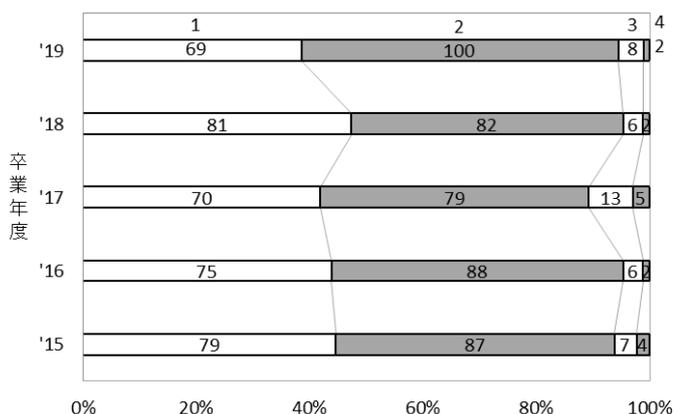
1. 非常に有益だった
2. 有益だった
3. あまり有益ではなかった
4. 有益ではなかった



理系基礎科目や理系共通科目よりもさらに「非常に有益だった」と「有益だった」の割合が大きく、3年次の理学専門科目の重要性が示されている。

(B40) 卒業研究そのものは、あなたにとって有益でしたか？

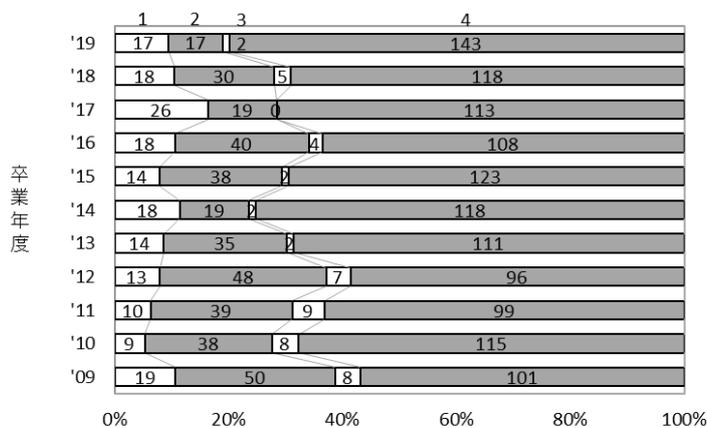
1. 非常に有益だった
2. 有益だった
3. あまり有益ではなかった
4. 有益ではなかった



有益であったとする回答がほとんどを占めており、卒業研究の意義がきちんと理解されていることがわかる。

(B41) 教員免許を取得予定ですか。

1. 数学だけの教員免許を取得する
2. 理科だけの教員免許を取得する
3. 数学と理科の両方の教員免許を取得する
4. 教員免許は取得しない

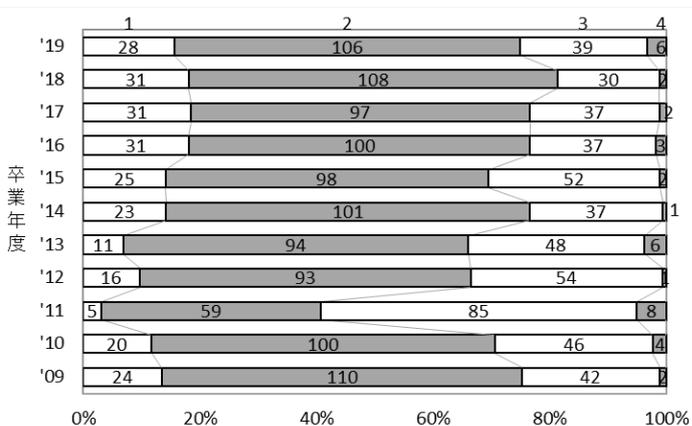


教員免許を志望する学生の割合は、長期的には減ってきているようである。

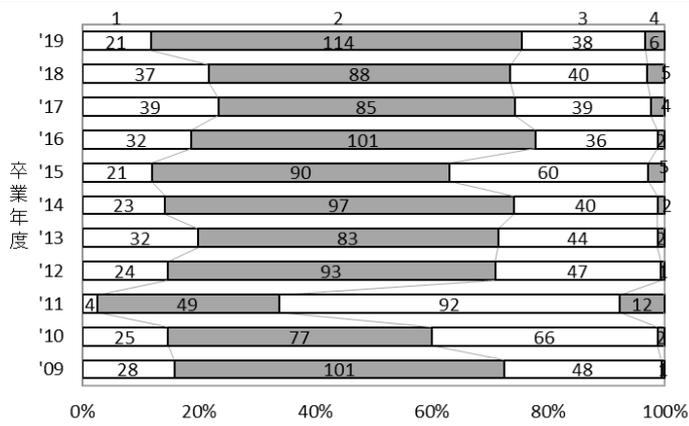
(B42) 4年間の履修を通してどのような力が身についたと思いますか。それぞれの項目に関して、次の4段階で回答してください。

1. よく身についた
2. ある程度身についた
3. もっと身につけたかった
4. 全く身につかなかった

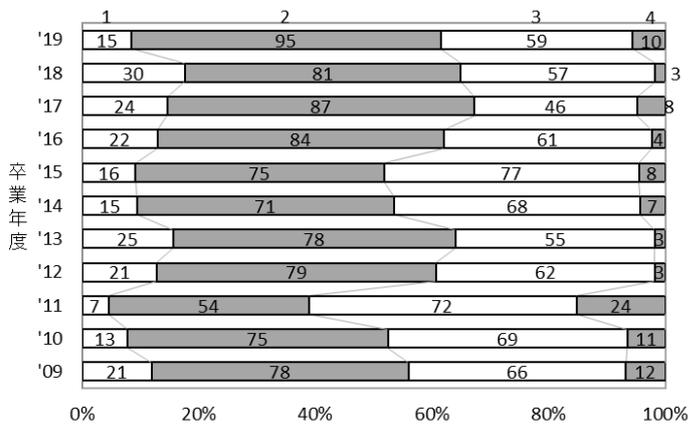
a. 教養・基礎学力：



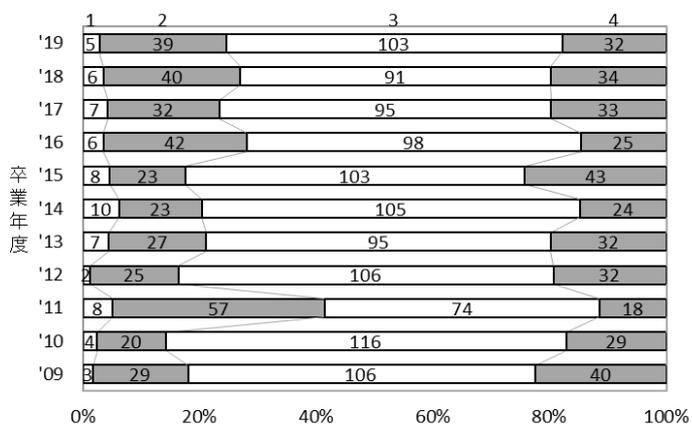
b. 専門知識：



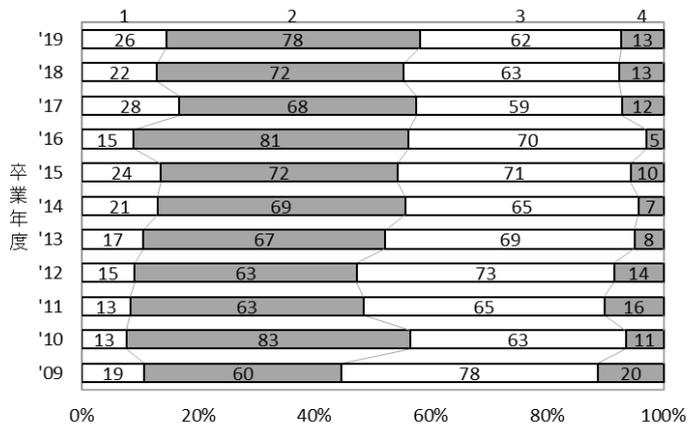
c. 技術・技能：



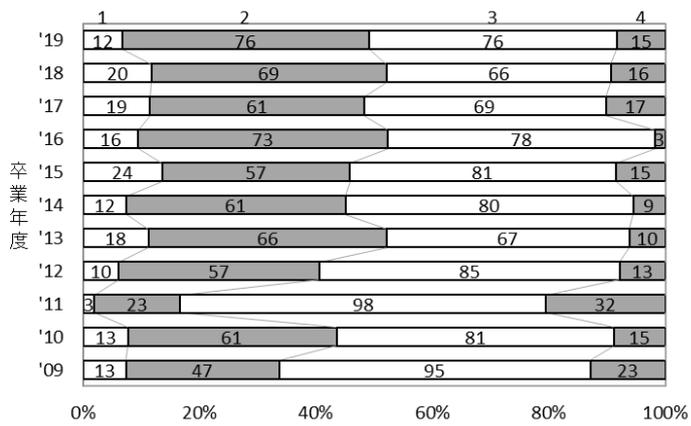
d. 英語を含めた外国語運用力：



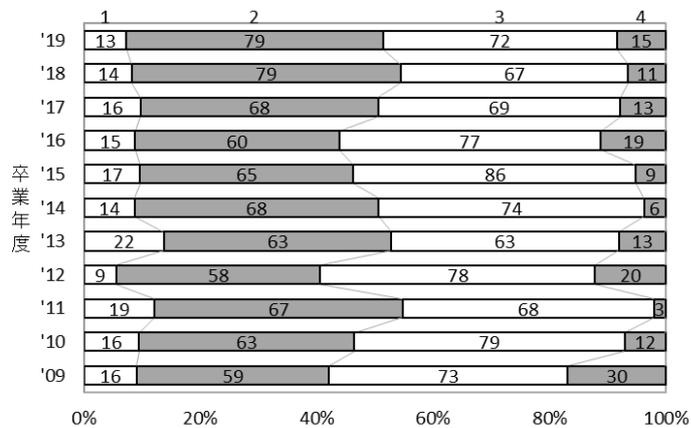
e. 一般的なコミュニケーション力：



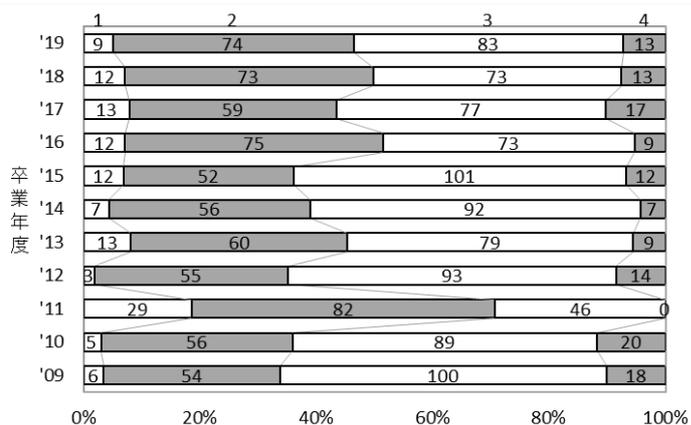
f. プレゼンテーション力：



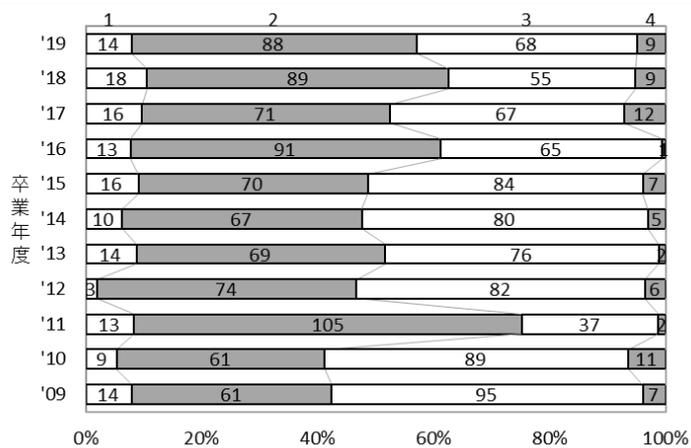
g. IT リテラシー・コンピュータ操作能力：



h. 独創性・発想力：



i. 課題発見・解決力：



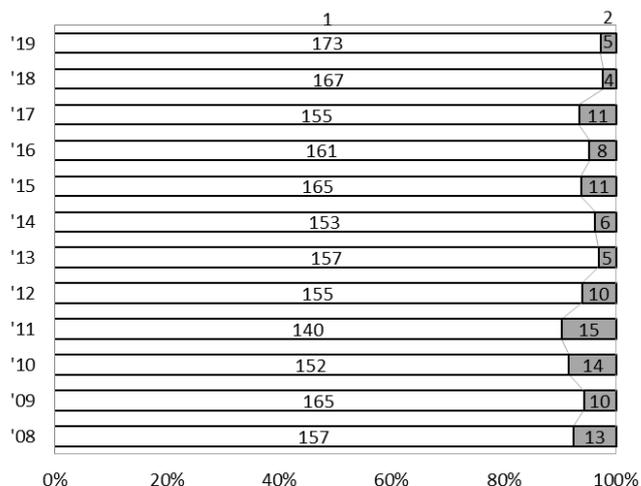
学生が「もっと身につけたかった」と回答したのは、英語を含めた外国語運用力、一般的なコミュニケーション力、プレゼンテーション力であり、一方で教養や専門知識が身についたとしている回答の割合は大きい。このような傾向は長期的にあまり変化していない。

(B43) 今かえりみて、選択したコースは自分にとってよかったと思いますか。

1. 思う
2. 思わない

大多数の学生が選択コースに満足している様子うかがえる。一方で、選択の迷い、間違いを指摘するコメントも少数ではあるが見受けられた。

卒業年度

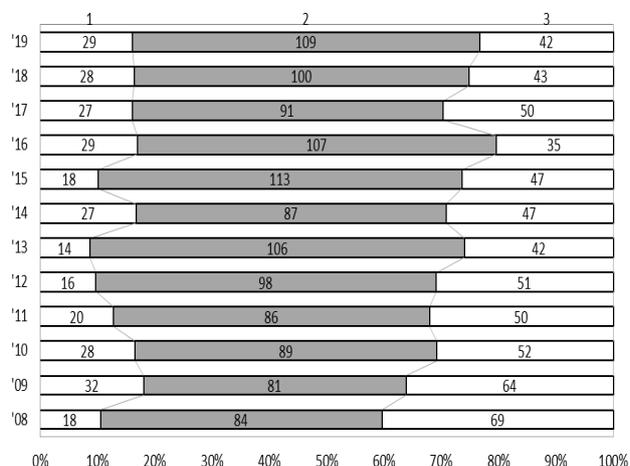


(B44) 4年間の大学生活において、授業に関すること以外で、課題を見つけて自主的に学びましたか。

1. よくした
2. 時々した
3. ほとんどしなかった

「よくした」という回答は2割にも満たない。大学がどのような場であるか、教員の経験を紹介しながら呼びかける必要があるだろう

卒業年度

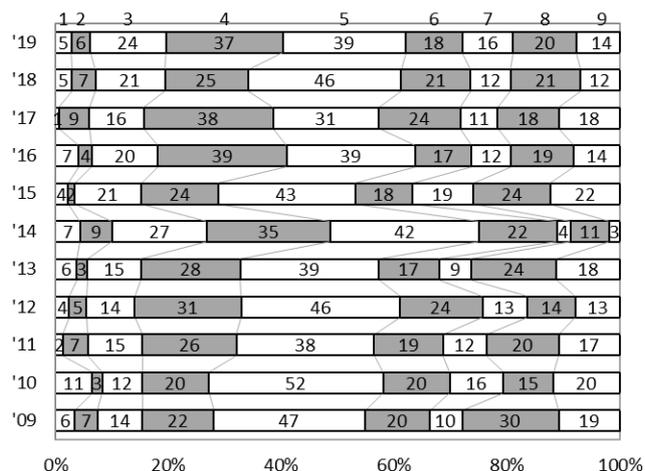


(B45) ふだんの学校外での学習時間は1週間で何時間ぐらいになりますか。

1. 21 時間以上
2. 16~20 時間
3. 10~15 時間
4. 6~9 時間
5. 2~5 時間
6. 2 時間
7. 1 時間
8. 1 時間未満
9. 全くしない

1 週間での学習時間が 2 時間以下という回答が 4 割近くあり、内容を精査する必要がある。特に質問の意味が曖昧で、講義の課題や卒業研究などを含めるのかどうかを明確にしたほうが良いと思われる。また、年次別に問うことも必要かもしれない。

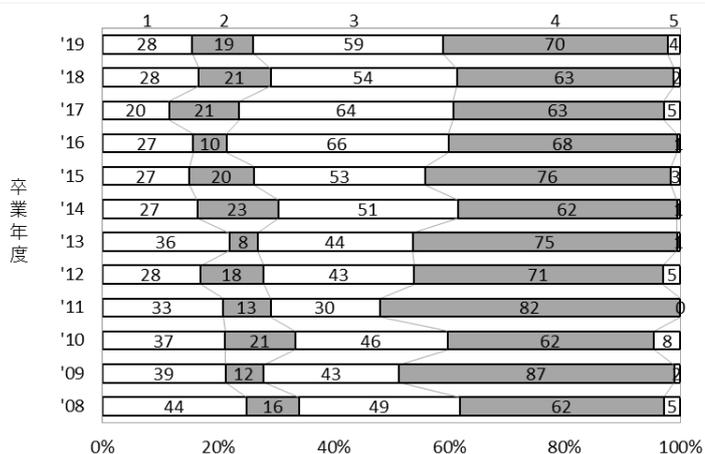
卒業年度



(B46) 4年間で勉強意欲が最も上がったのはどの時期ですか。

1. 1年次
2. 2年次
3. 3年次
4. 4年次
5. その他

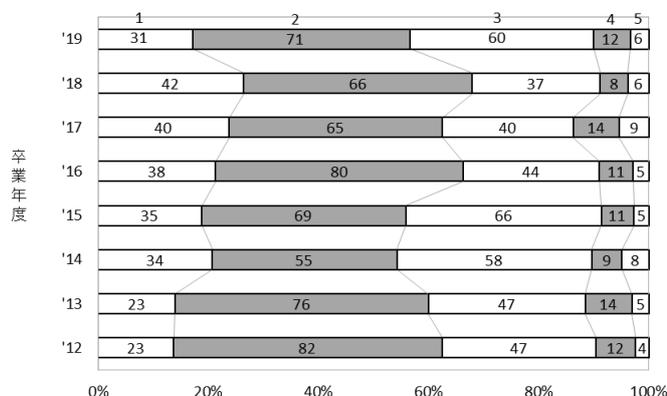
卒業研究のある4年次が選ばれるのはある意味当然であると思われる。1～3年次のなかで選ばせるほうが良いかもしれない。



(B47) 今かえりみて、学部の4年間で、いつの時期にもっと学修しておけば良かったと思いますか。

1. 1年次
2. 2年次
3. 3年次
4. 4年次
5. その他

2年次という回答が最も多い。2年次はコース選択の大事な時期であり、勉学をモチベートできるような施策が必要であると考えられる。

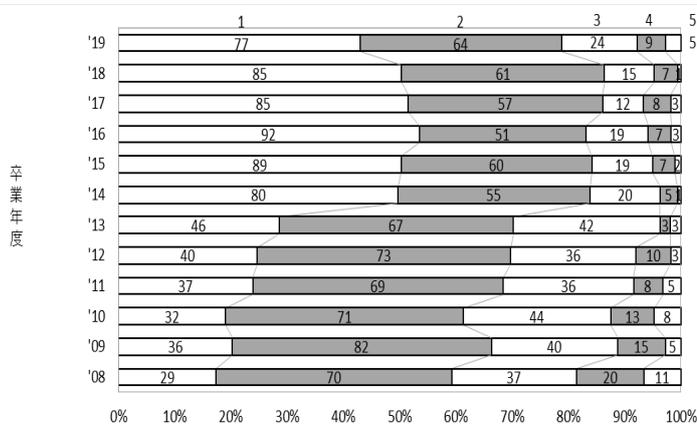


コース制全般に関してお聞きします。

(B48) コース制に対して満足していますか。

1. 満足
2. どちらかといえば満足
3. どちらとも言えない
4. どちらかといえば不満足
5. 不満足

ここ数年、満足度の高い傾向が続いている。現状を変更せず継続していくことに問題ないと考えられる。



(B49) コース制に対して意見があれば自由に記述して下さい。

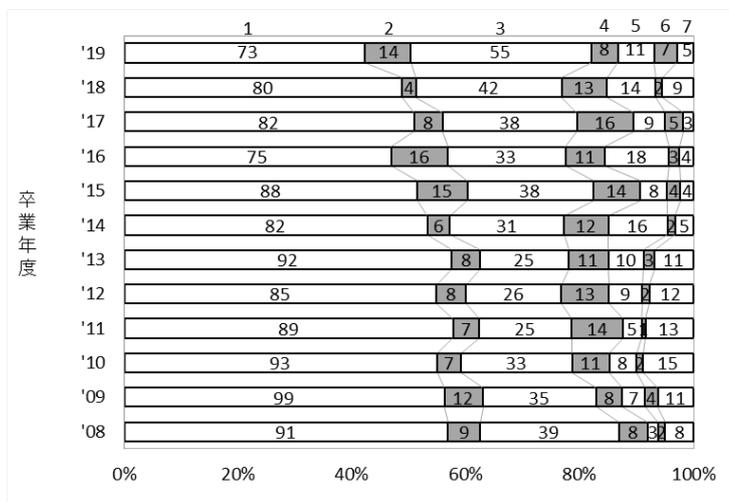
回答数 (意見など) : 21 件

「コース選択を早めて欲しい」、「他大学よりも専門性が浅くなる」というコメントが13名ほどからあった。1・2年次で理科を広く学ぶことが熊本大学理学部の理念であるから、3年次から始まる専門教育が他大学より浅くなりがちであるという面はある程度は仕方のないことであり、この点は受験生や新入生によく理解してもらう必要がある。一方、「専門科目を低学年でも受けられるようにして欲しい」という意見があり、これは JRF でごく一部の学生には許されていることであるが、より広い学生に開放しても良いだろう。

C. 卒業後の進路について

(C1) あなたの4月以降の進路は何ですか。

- [大学院進学] 1. 熊本大学
- 2. 他の大学
- [就職] 3. 民間企業
- 4. 教職
(非常勤および臨時採用を含む)
- 5. 公務員
- 6. その他の就職先
- 7. その他 (進学・就職以外)

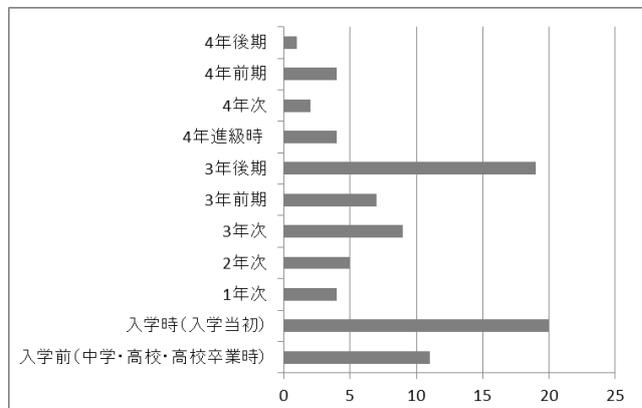


大学院進学者の割合が徐々に減少している。理学部での教育は博士前期課程までの一貫教育を理念としており、このことを早い時期から周知する必要がある。

(C2) 大学院に進学する人にお聞きします。大学院進学をいつ決めましたか。

回答数 (時期) : 86 件

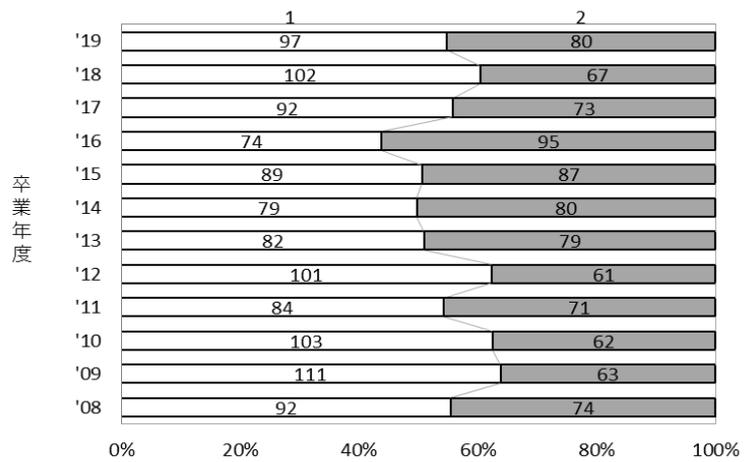
入学前や入学時から決めている学生もいるが、3年次あたりに決めている学生もおり、専門教育に触れることで大学院進学を決意したと評価できる。



(C3) 3年次に理学部が開催している就職説明会には出席しましたか.

1. はい
2. いいえ

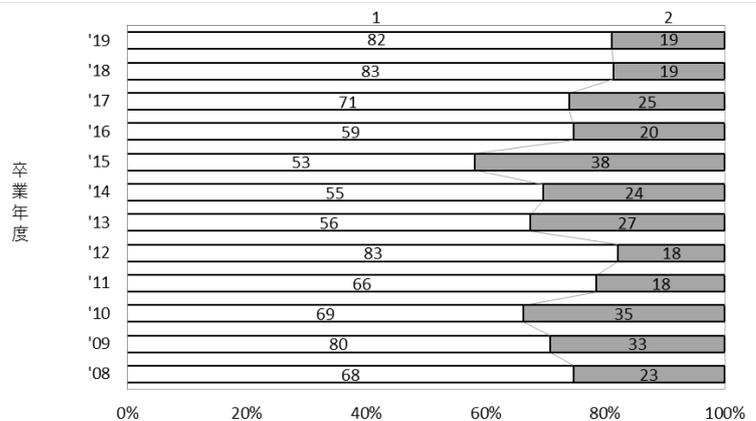
参加しているのは半数程度であり、大学院に進学することを考えている学生は参加しないものと推測できる。



(C4) 上記の就職説明会に出席した方にお聞きします. 役立ちましたか.

1. はい
2. いいえ

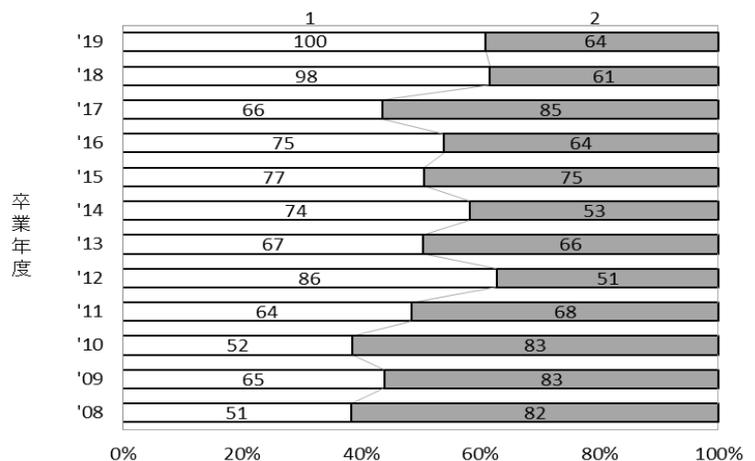
「はい」の割合は7割を超え、就職説明会は有用であると感じているようである。



(C5) 就職に関する理学部からの情報提供は十分でしたか.

1. はい
2. いいえ

長期的には「いいえ」の回答は減りつつあるがそれでも4割程度を占める。

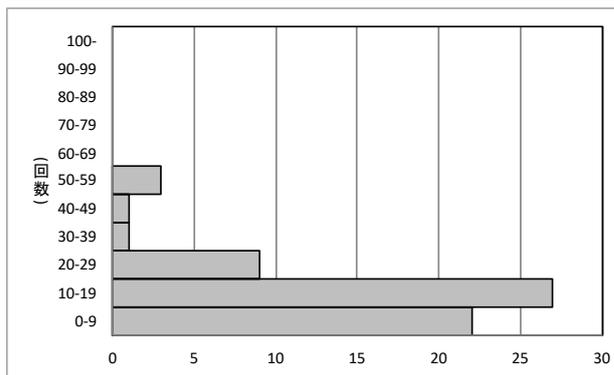


就職活動をした人にお聞きします。就職活動をしなかった人は(C10)に進んで下さい。

(C6) 就職活動（面接や企業訪問など）のため、企業を何回訪問しましたか。

回答数（訪問回数）：63 件

0-9 と 10-19 で 8 割程度を占めている。少数だが 50-59 という回答もある。



(C7) 就職活動をおこなった期間はいつですか。

回答集：67 件

3 年生の 3 月と 4 年生の 6 月～8 月の二つのピークがある。公務員試験のための勉強を就職活動とするのかどうかなど、「就職活動」の明確な定義が必要だろう。

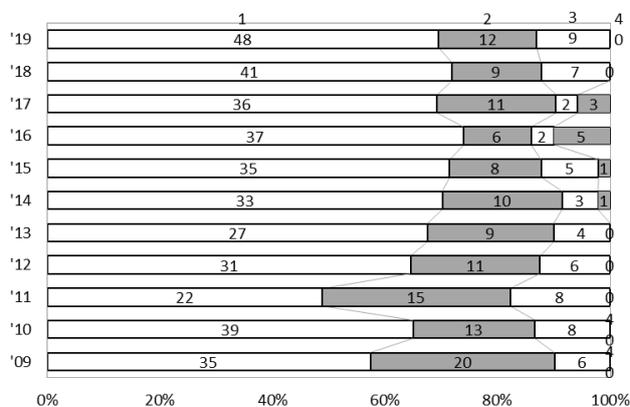
開始時期	人数	終了時期	人数
2018.03	1	2019.01	1
2018.05	4	2019.03	2
2018.06	2	2019.05	13
2018.07	1	2019.06	25
2018.08	2	2019.07	6
2018.09	3	2019.08	6
2018.10	5	2019.09	6
2018.11	1	2019.10	6
2018.12	7	2020.02	1
2019.01	6	継続中	1
2019.02	8		
2019.03	14		
2019.04	8		
2019.06	2		
2019.08	2		
2019.10	1		

(C8) 就職活動のため、大学の授業や試験を休んだ回数は延べ何回ですか。思い当たる範囲で結構ですので、授業の回数（コマ数）でお書き下さい。

1. 0～5回
2. 6～10回
3. 11～30回
4. 31回以上

1, 2 の回答が全体の 9 割近く占めている。4 年生の開講講義への影響はあまり深刻ではないと思われるが、3 年次の講義に関しては対策を講じる必要があるかもしれない。教員への意識調査も併せて行うことが望まれる。

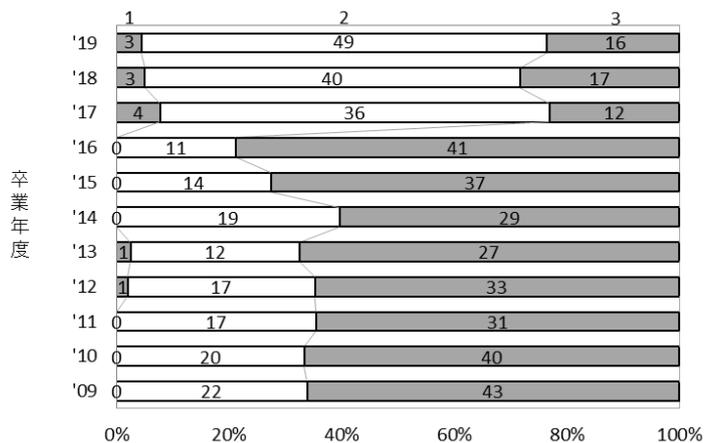
卒業年度



(C9) 企業等からの求人では学部やコースからの推薦を依頼されることがありますが、この推薦枠を利用されましたか。

1. 推薦枠を利用した
2. 推薦枠を利用しなかった
3. 知らなかった

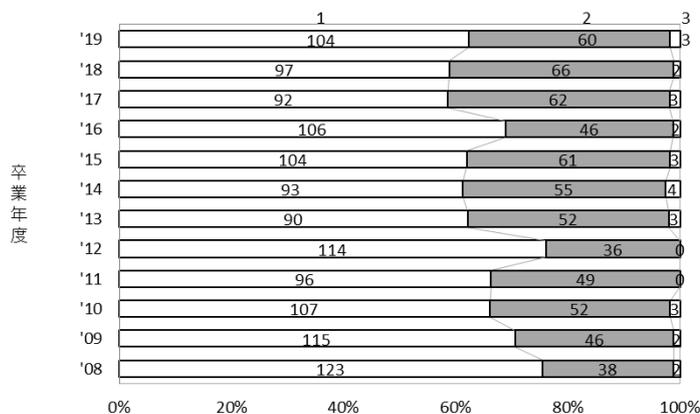
ここ数年で周知が徹底されているようで「知らなかった」の回答数は激減している。しかし利用率は微増にとどまっている。



(C10) 現在、3年次を対象とした就職説明会は行っていますが、大学院進学希望者への学部全体での説明会は行っていません。大学院進学に向けての説明会はあった方がいいですか。

1. あった方がよい
2. なくてもよい
3. その他

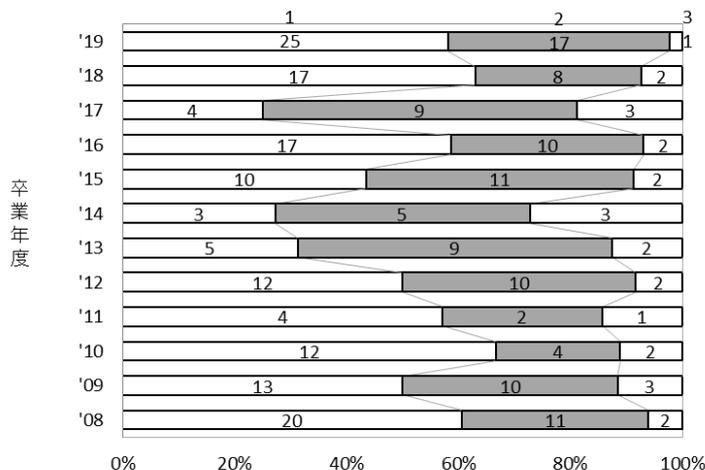
「あった方がよい」の回答率が6割近くに達しており、速やかに検討することが望まれる。



(C11) 学外特別演習（インターンシップ）を履修した方にお聞きします。卒業後の進路を決める上で役立ちましたか。

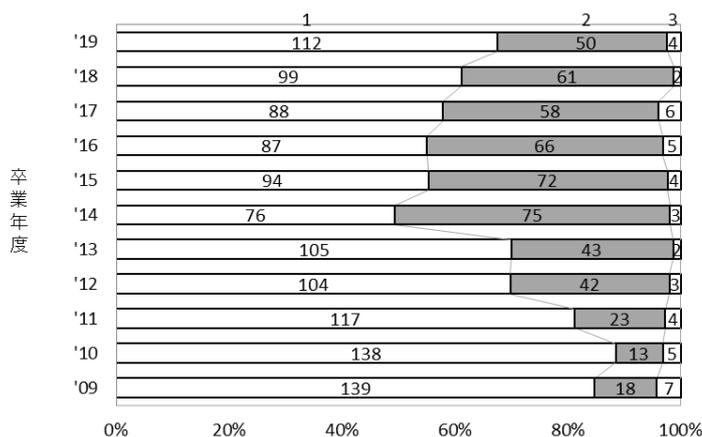
1. 役立った
2. どちらとも言えない
3. ほとんど役立たなかった

総数が少ないため、年による相違が大きく、傾向を読み取ることは難しいが、概ね役に立っていると評価できる。



(C12) キャリア科目として理学概論を開講し、2年次に理学が企業などの管理職などでどのように活用されているかを学ぶ機会を設けています。このようなキャリア科目は必要だと思いますか。

1. あった方がよい
2. なくてもよい
3. その他



1の回答について一時は減少傾向が続いていたが、ここ5年ほどは増加傾向にある。理学概論の内容とともにこの傾向について考察すべきである。

(C13) その他、大学院進学や就職に関して希望することもしくは意見があれば、自由に記述して下さい。

意見など：7件

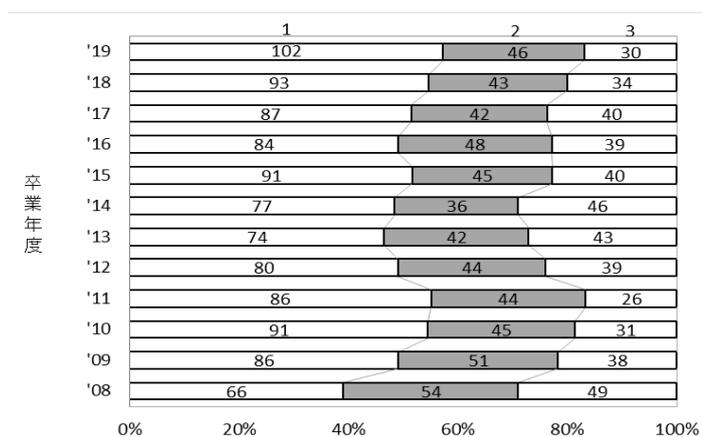
コメントはあまり多くなかったが、大学院や就職についてもっと早い段階から説明が欲しいという意見があった。

D. 学習環境について

(D1) 自主的に学習できる場所や施設は十分ですか。

1. 十分
2. どちらとも言えない
3. 不十分

半数以上が「十分」と回答しており、増加傾向にある。

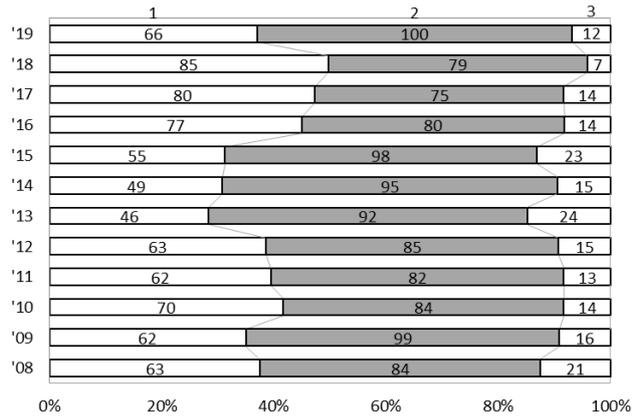


(D2) 本学の中央図書館や理学部の図書室を利用しましたか.

1. よく利用した
2. 時々利用した
3. あまり利用しなかった

「よく利用した」と「時々利用した」でほとんどを占めており、図書館や図書室はよく利用されていると評価できる。

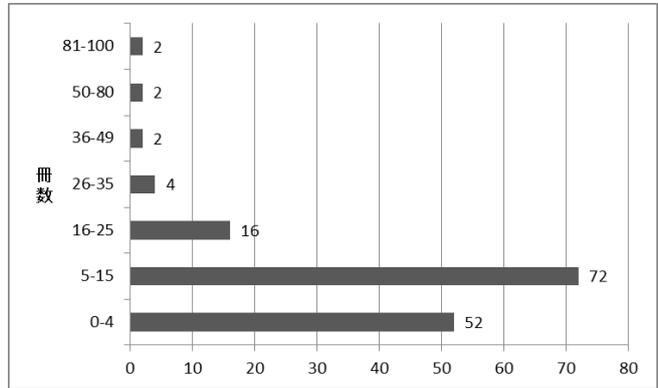
卒業年度



(D3) 大学 4 年間に教科書以外の専門書をどれぐらい読みましたか. 冊数で答えて下さい.

回答数 (冊数) : 150 件

4 年間で 15 冊以下という学生が大半を占め、年間で平均 4 冊以下ということになる。講義中に良い本を紹介するなどの対応が必要であろう。また、専門書ではない一般書をどれくらい読んだか、という設問も必要であると思われる。

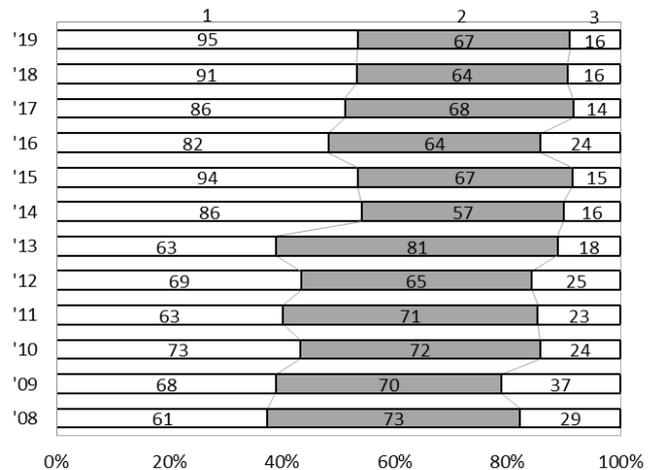


(D4) 本学の中央図書館や理学部の図書室の専門図書は充実していると思いますか.

1. はい
2. どちらとも言えない
3. いいえ

ここ数年「はい」の回答が約 5 割に達している。まず充実していると捉えられているようである。

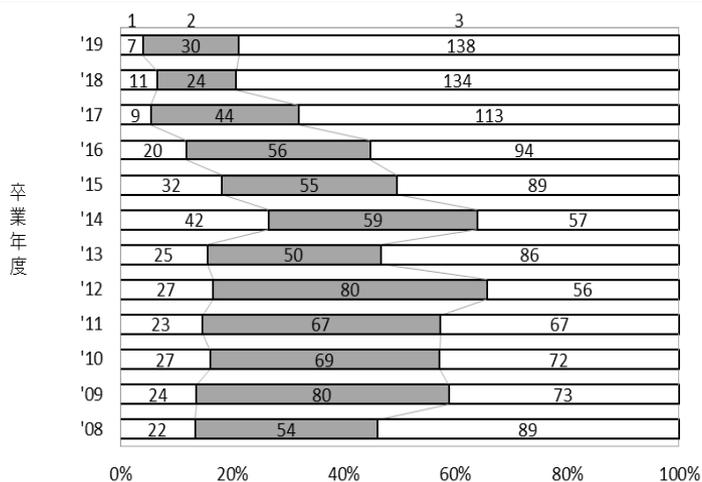
卒業年度



(D5) 理学部の計算機室は利用しましたか.

1. よく利用した
2. 時々利用した
3. あまり利用しなかった

「あまり利用しなかった」の割合が増加している。各自でパソコンやタブレットなどを持っている割合が増えたのかもしれない。



(D6) 自主的な学習環境として必要なものがあれば、挙げて下さい。

回答数 (必要なもの) : 29 件

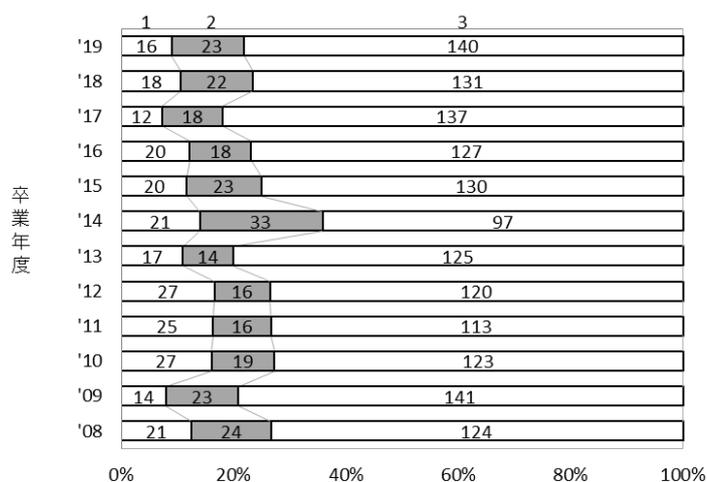
自習室を充実させて欲しい、図書館をもっと遅くまで開けて欲しいという要望がとても多いので検討すべきである。

E. 学生生活について

(E1) 学生生活に関して担任やチューターに相談したことがありますか.

1. 2回以上
2. 1回
3. ない

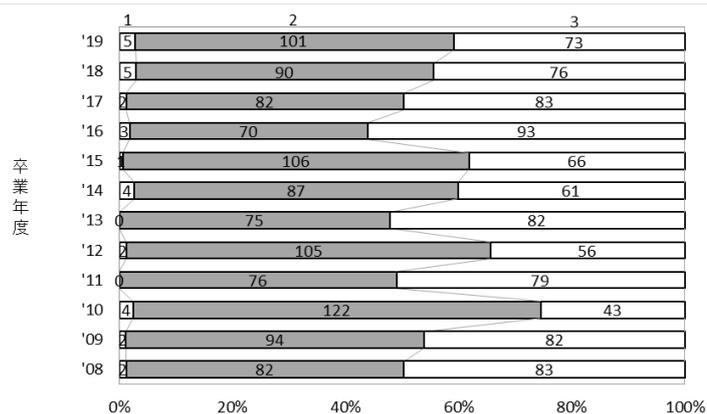
「ない」の割合が多くあまり変動はない。



(E2) 学部長へのダイレクトメールについて

1. 利用したことがある
2. 今まで利用したことはない
3. 知らなかった

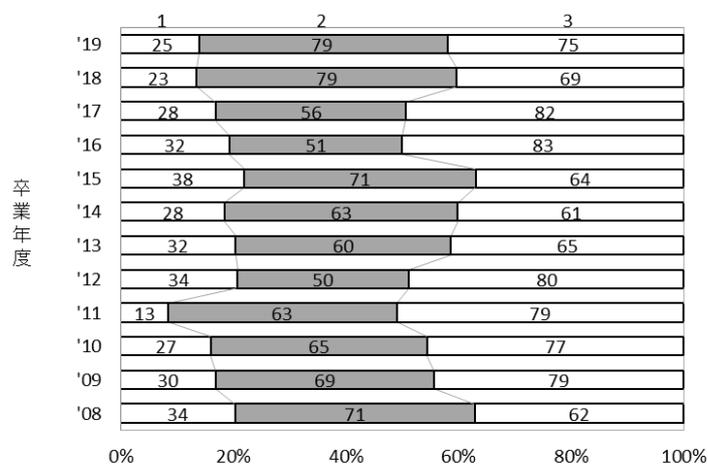
「知らなかった」という回答の割合は減りつつあるが、さらに周知を徹底するべきである。



(E3) 合宿研修，七夕祭り，球技大会など各種イベントに興味がありましたか。

1. 大いにあった
2. 少しあった
3. あまりなかった

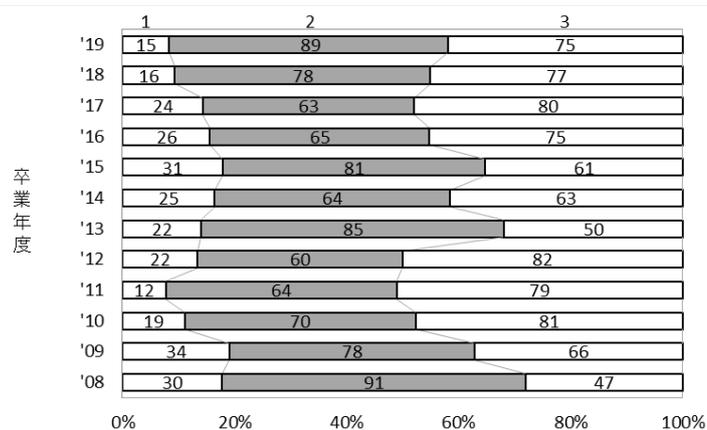
「あまりない」の割合が5割近くあるので、各種イベントあり方を再検討してもよいであろう。



(E4) 七夕祭りや球技大会に参加しましたか。

1. 3回以上参加した
2. 1～2回参加した
3. 参加したことはない

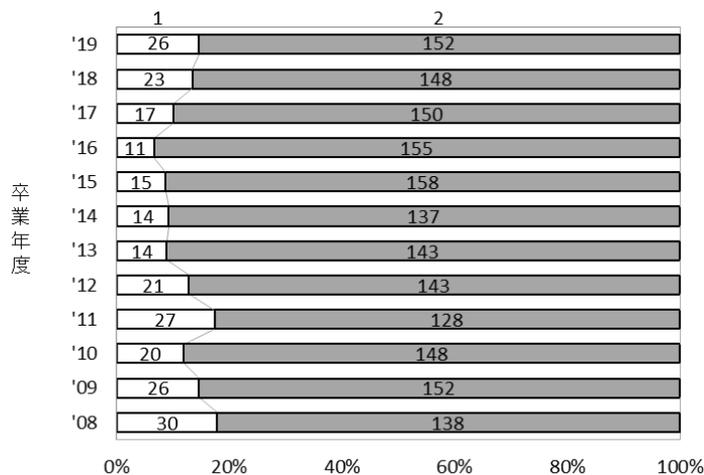
「参加したことはない」という回答が4割程度あり、あまり傾向は変わらない。



(E5) 学生自治会の活動について

1. 知っている
2. 知らない

例年、「知らない」が多いため、その周知を図り関心を高める必要がある。



(E6) イベントに参加して、感想や意見があれば、自由に記述して下さい。

回答数 (感想や自由記述) : 5 件

コメント数がとても少なく、関心が低いと考えられる。

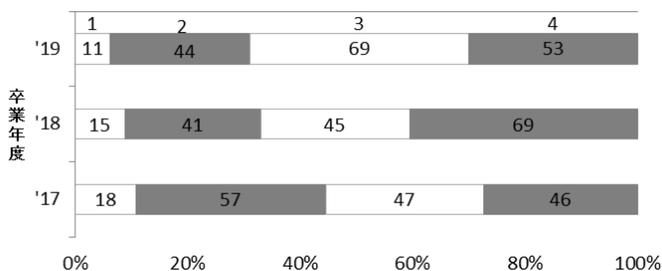
(E7) 他に実施してほしいイベントがあれば、自由に記述して下さい。

回答数 (希望するイベント) : 3 件

やはりコメント数がとても少ないが、研究室間の交流という意見があった。

(E8) 在学中は、学生生活を続けていく上で、経済的な問題がありましたか。

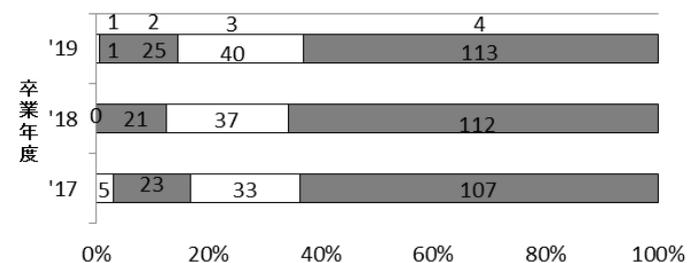
1. ほぼ全期間にわたってあった
2. 時々あった
3. 少しだけあった
4. 全くなかった



問題があったとの回答が7割程度ある。検討を要する問題として捉えられる。

(E9) 在学中は、教員や学生との人間関係で問題がありましたか。

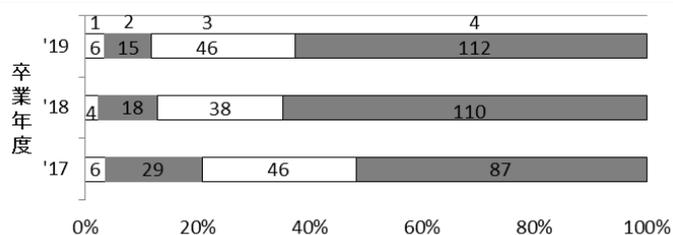
1. ほぼ全期間にわたってあった
2. 時々あった
3. 少しだけあった
4. 全くなかった



何らかの問題があったという回答が3割ほどあり、チューターその他の相談相手をもっと活用されるべきである。

(E10) 在学中は、住居の条件や環境に問題がありましたか。

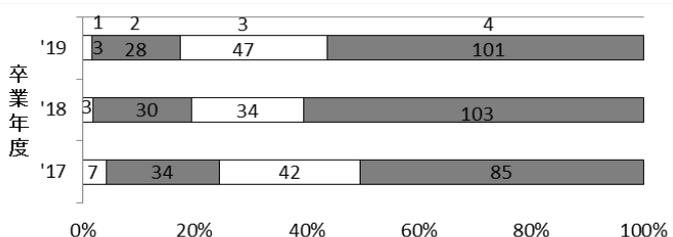
1. ほぼ全期間にわたってあった
2. 時々あった
3. 少しだけあった
4. 全くなかった



やはり何らかの問題があったという回答が3割ほどあり、相談しやすい環境の整備が必要である。

(E11) 学生生活を続けていく上で健康面に問題がありましたか。

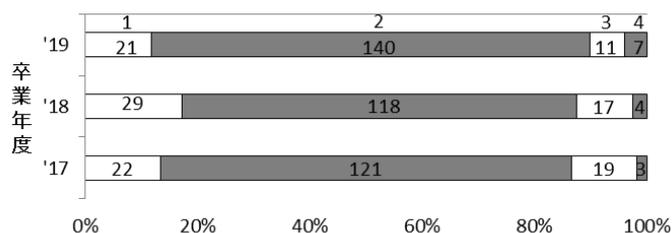
1. ほぼ全期間にわたってあった
2. 時々あった
3. 少しだけあった
4. 全くなかった



健康面の問題とはどの程度のものなのか設問が曖昧であり、何らかの分析をするには意図を明確にする必要があるだろう。

(E12) 健康相談の体制には満足できましたか.

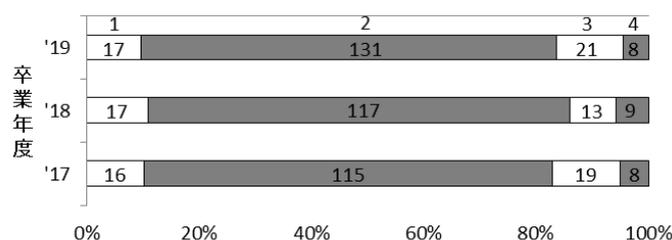
1. 大いに満足である
2. 満足である
3. 不満足である
4. 大いに不満足である



満足と回答している学生の割合が8割を超えているが、さらなる周知徹底が必要であろう。

(E13) 各種ハラスメント相談の体制には満足できましたか.

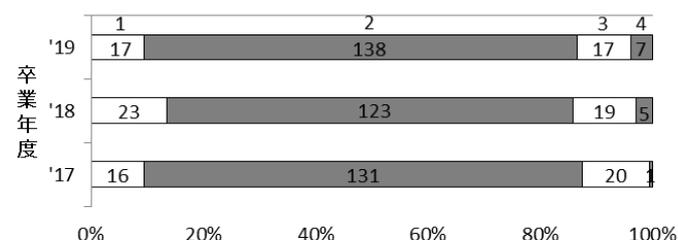
1. 大いに満足である
2. 満足である
3. 不満足である
4. 大いに不満足である



満足と回答している学生の割合が8割を超えているが、さらなる周知徹底が必要であろう。

(E14) 授業・学習支援・生活支援を含む熊本大学の学習環境全体の満足度についてお聞きします.

1. 大いに満足である
2. 満足である
3. 不満足である
4. 大いに不満足である



満足であると回答している学生の割合が8割を超えている。さらに割合が増えるように努力・工夫が求められる。

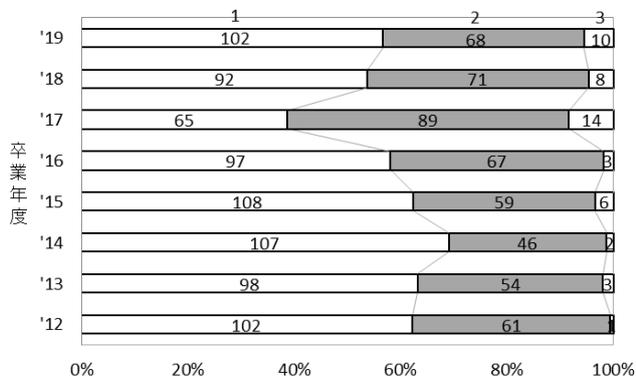
F. 授業改善アンケートおよびシラバスについて

シラバスについてお聞きします。

(F1) シラバスは良く読みましたか。

1. 良く読んだ
2. 真剣には読まなかった
3. 見ていない

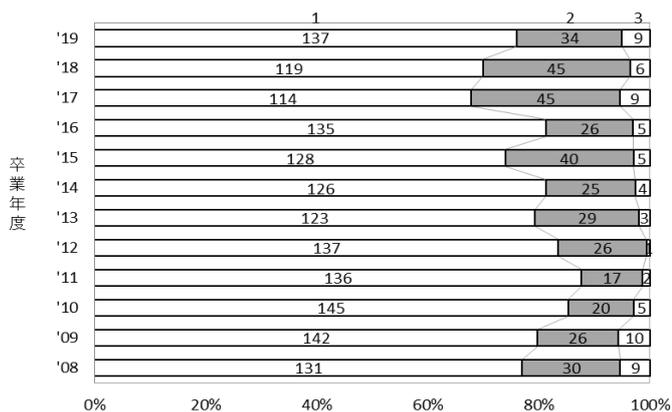
シラバスが冊子体からネットでの閲覧のみになり、一時はシラバスを「真剣には読まなかった」あるいは「見ていない」学生の割合が増加していたが、ここ数年で「よく読んだ」の回答が増加している。



(F2) 履修する科目を選択する際にシラバスは役立ちましたか。

1. 役立った
2. どちらとも言えない
3. ほとんど役立たなかった

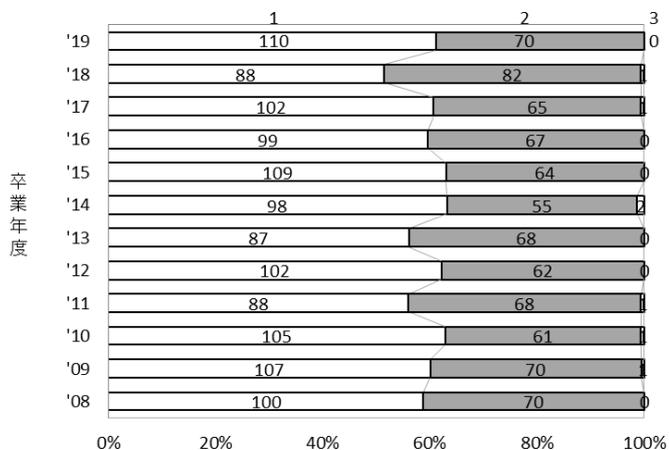
「役に立った」という回答の割合が大きい。(F1)の設問の回答と関連していると思われる。



(F3) 成績評価の方法はシラバスに明確に記述して欲しいですか。

1. 記述して欲しい
2. 今の程度でよい
3. その他

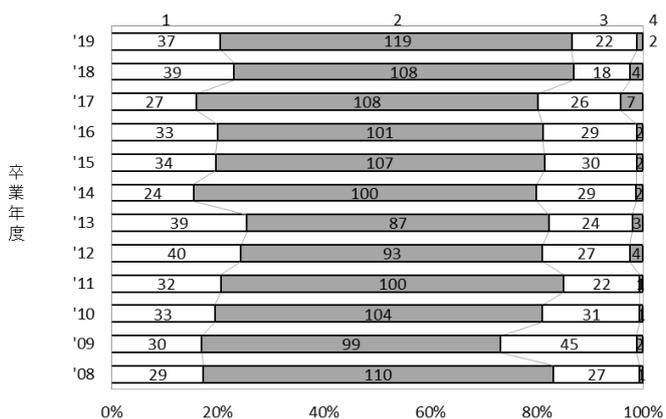
例年通り「記述して欲しい」の割合が6割近くに達している。教員に周知すべきである。



(F4) 全体的に、シラバスに記載された方法で厳格な成績評価が行われていると思いますか。

1. 行われている
2. 多くの科目で行われている
3. あまり行われていない
4. その他

「行われている」と「多くの科目で行われている」を合わせて8割程度であり、おおむね良好と思われる。

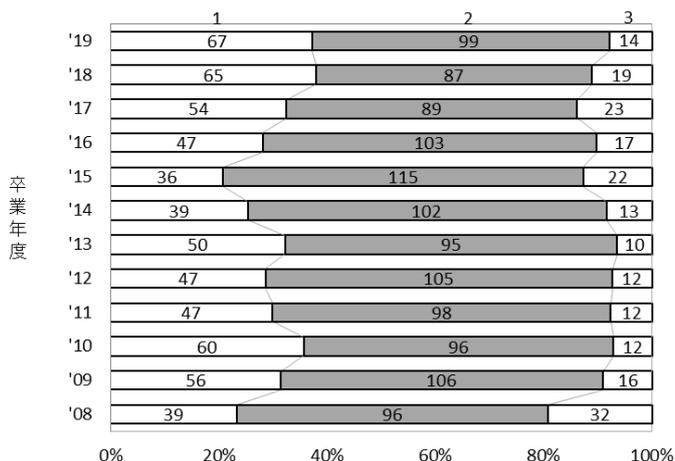


「授業改善のためのアンケート」についてお聞きします

(F5) アンケートの目的は理解していますか。

1. 十分理解している
2. ほぼ理解している
3. よくわからない

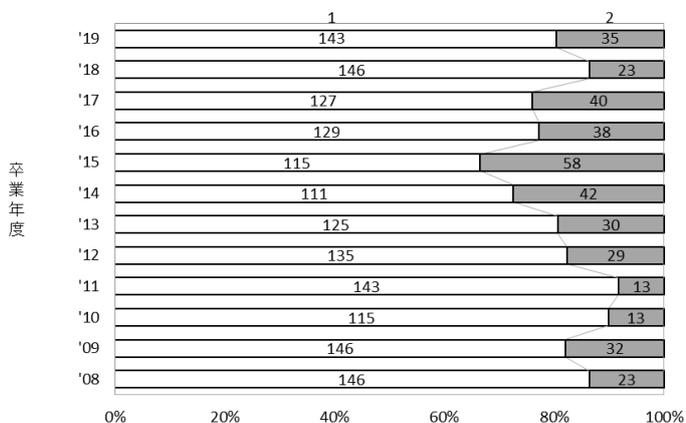
現状のアンケート形態で問題ないと考えられるが、「十分理解している」と「ほぼ理解している」の選択肢の違いが不明瞭である。



(F6) アンケートの回答に積極的に協力しましたか。

1. はい
2. いいえ

例年通り、「はい」の回答割合が8割近くに達している。



(F7) Web 上での教員のコメントは読み
ましたか。

1. はい
2. いいえ

「いいえ」の回答が7割を超えており、
学生は、教員のコメントにあまり関心を持
っていない様子が見えてくる。

